# (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



# | AUG | 10 101 | UUG | UUG

#### (43) 国際公開日 2003 年1 月3 日 (03.01.2003)

**PCT** 

# (10) 国際公開番号 WO 03/000661 A1

(51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C07D 221/10, 221/16, C09K 11/06, H05B 33/14, 33/12, C07F 15/00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP02/06001

(22) 国際出願日:

V,

2002年6月17日(17.06.2002)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ: 特願2001-190662 2001 年6月

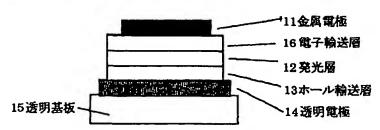
2001年6月25日(25.06.2001) JP

- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): キヤノン株式会社 (CANON KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒146-8501 東京都 大田区 下丸子3丁目30番2号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 滝口 隆雄

(TAKIGUCHI, Takao) [JP/JP]; 〒157-0064 東京都 世 田谷区 給田 1-1 0-2 Tokyo (JP). 坪山 明 (TSUB-OYAMA,Akira) [JP/JP]; 〒229-0011 神奈川県 相模原 市 大野台 6-5-4-1 0 4 Kanagawa (JP). 岡田 伸 二郎 (OKADA,Shinjiro) [JP/JP]; 〒259-1141 神奈川 県 伊勢原市 上粕屋2639-3 Kanagawa (JP). 鎌 谷 淳 (KAMATANL,Jun) [JP/JP]; 〒215-0011 神奈川 県 川崎市 麻生区百合丘 3-2 6-4 Kanagawa (JP). 三浦 聖志 (MIURA,Seishi) [JP/JP]; 〒229-0015 神奈 川県 相模原市 下溝 3 2 7-1 6 Kanagawa (JP). 森山 孝志 (MORIYAMA, Takashi) [JP/JP]; 〒215-0005 神奈 川県 川崎市 麻生区千代ヶ丘 4-2-3 1-B-2 0 2 Kanagawa (JP). 井川 悟史 (IGAWA,Satoshi) [JP/JP]; 〒 251-0044 神奈川県 藤沢市 辻堂太平台 2-3-2 4 Kanagawa (JP). 古郡学 (FURUGORI, Manabu) [JP/JP]; 〒243-0004 神奈川県 厚木市 水引 2-6-29キヤ ノン寮 Kanagawa (JP). 水谷 英正 (MIZUTANI,Hidemasa) [JP/JP]; 〒228-0816 神奈川県 相模原市 双葉 2-5-3 O Kanagawa (JP).

[続葉有]

- (54) Title: METAL COORDINATION COMPOUND AND ELECTROLUMINESCENCE DEVICE
- (54) 発明の名称: 金属配位化合物及び電界発光素子



15...TRANSPARENT SUBSTRATE

11...METAL ELECTRODE

16...ELECTRON TRANSPORT LAYER

12...LUMINANCE LAYER

13...HOLE TRANSPORT LAYER

14...TRANSPARENT ELECTRODE

(57) Abstract: A metal coordination compound having a basic structure expressed by general formula  $ML_mL^\prime$  n (1) [wherein M represents a metal atom of Ir, Pt, Rh, or Pd, L and L represent mutually different bidentate ligands, m is 1, 2, or 3, n is 0, 1, or 2, and m + n is 2 or 3]. The basic structure includes a partial structure in which at least one bidentate ligand L is condensated through an alkylene group having 2-10 carbon atoms. An electroluminescence device having a cathode, an anode, and a plurality of organic thin films between the cathode and anode is also disclosed. At least one of the organic thin films is a luminescence layer made of a host material and luminance molecules of a metal coordination compound having a structure expressed by general formula (1) and mixed in the host material as a guest material. The electroluminescence device emits light at high efficiency and maintains a high luminance stably for a long term.

03/000661

- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 /広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特

許(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

#### 添付公開書類:

#### — 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

#### (57) 要約:

一般式ML<sub>m</sub>L'<sub>n</sub>(1)[式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、LおよびL'は互いに異なる二座配位子を示す。mは1または2または3であり、nは0または1または2である。ただし、m+nは2または3である。]で示される基本構造において、少なくとも1つの二座配位子Lが炭素数2~10のアルキレン基を介して縮合した部分構造を有する金属配位化合物を提供する。陰極と陽極の間に一層または複数層の有機薄膜より構成される電界発光素子において、少なくとも一層が発光層であり、発光層に前記一般式(1)で示される構造を有する金属配位化合物からなる発光分子を、ゲスト材料としてホスト材料中に配合して発光層を形成する。これにより、高効率で発光し、長期間高輝度を安定に保つ電界発光素子を提供する。

WO 03/000661 PCT/JP02/06001

1

#### 明細書

# 金属配位化合物及び電界発光素子

# 5 [技術分野]

15

20

25

本発明は、有機化合物を用いた電界発光素子に関するものであり、さらに詳しくは金属配位化合物を発光材料として用いる有機エレクトロルミネッセンス素子(以下有機EL素子と言う)に関するものである。

#### [背景技術]

10 有機EL素子は、高速応答性や高効率の発光素子として、応用研究が 精力的に行われている。その基本的な構成を図1 (a) および (b) に 示す [例えばMacromol. Symp. 125, 1~48 (199 7) 参照]。

> 図1に示すように、一般に有機EL素子は透明基板15上に透明電極 14と金属電極11の間に複数層の有機膜層から構成される。

> 図1 (a) の素子では、有機層が発光層12とホール輸送層13からなる。透明電極14としては、仕事関数が大きなITOなどが用いられ、透明電極14からホール輸送層13への良好なホール注入特性を持たせている。金属電極11としては、アルミニウム、マグネシウムあるいはそれらを用いた合金などの仕事関数の小さな金属材料を用い有機層への良好な電子注入性を持たせる。これら電極には、50~200nmの膜厚が用いられる。

発光層12には、電子輸送性と発光特性を有するアルミニウムキノリノール錯体など(代表例は、以下に示すA1q3)が用いられる。また、ホール輸送層13には例えばビフェニルジアミン誘導体(代表例は、以下に示すα-NPD)など電子供与性を有する材料が用いられる。

10

15

20

25

以上の構成を有する素子は整流性を示し、金属電極11を陰極に透明 電極14を陽極になるように電界を印加すると、金属電極11から電子 が発光層12に注入され、透明電極15からはホールが注入される。

注入されたホールと電子は発光層12内で再結合により励起子が生じ発光する。この時ホール輸送層13は電子のブロッキング層の役割を果たし、発光層12/ホール輸送層13界面の再結合効率が上がり、発光効率が上がる。

さらに、図1(b)では、図1(a)の金属電極11と発光層12の間に、電子輸送層16が設けられている。発光と電子・ホール輸送を分離して、より効果的なキャリアブロッキング構成にすることで、効率的な発光を行うことができる。電子輸送層16に、例えば、オキサジアゾール誘導体などの電子輸送材料を用いることができる。

これまで、一般に有機EL素子に用いられている発光には、蛍光と燐 光の2通りがあり、蛍光発光素子では、発光材料分子が一重項励起子から基底状態へ遷移するときの蛍光が取り出される。一方燐光発光素子では、三重項励起子を経由した発光を利用する。

近年発光収率が蛍光発光素子に比べ高くなる燐光発光素子の検討がな されている。発表されている代表的な文献としては、

文献1: Improved energy transfer in electrophosphorescent device (D. F. O'Brien5, Applied Physics Letters Vol 74, No3 p422 (1999))、

文献2:Very high—efficiency green organic light—emitting devices basd on electrophosphorescence (M. A. Baldob, Applied Physics Letters V

WO 03/000661 PCT/JP02/06001

3

ol 75, Nol p4 (1999)) である。

これらの文献では、図1 (c)に示すように有機層が4層の構成が主に用いられている。それは、陽極側からホール輸送層13、発光層12、励起子拡散防止層17、電子輸送層16からなる。用いられている材料は、以下に示すキャリア輸送材料とりん光発光性材料である。各材料の略称は以下の通りである。

A 1 q 3:アルミニウムーキノリノール錯体

 $\alpha$ -NPD: N4, N4'-Di-naph thalene-1-yl-N4, N4'-diphenyl-biphenyl-4, 4'-d

10 iamine

5

CBP: 4, 4'-N, N'-dicarbazole-biphen yl

BCP: 2, 9-d imethy l-4, 7-d ipheny l-1, 10-p hen anthroline

P t O E P: 白金ーオクタエチルポルフィリン錯体I r (p p y) 3: イリジウムーフェニルピリミジン錯体

4

Alq3

CBP

BCP

$$C_2H_5$$
 $C_2H_5$ 
 $C_2H_5$ 

しかし上記燐光発光を用いた有機EL素子では、特に通電状態の発光 劣化が問題となる。この原因は明らかではないが、以下のように推察される。一般に三重項励起子の寿命が一重項励起子の寿命より、3桁以上 長いために、励起された分子がエネルギーの高い状態に長く置かれるため、周辺物質との反応、例えば励起多量体の形成、分子微細構造の変化、

周辺物質の構造変化などが起こるのではないかと考えられる。

いずれにしても、燐光発光素子は、高発光効率が期待される一方で通電劣化が問題となり、燐光発光素子に用いる発光材料には、高効率発光でかつ、安定性の高い化合物が望まれている。

#### 5 [発明の開示]

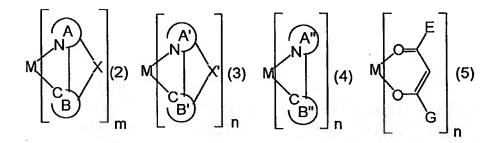
そこで、本発明は、高効率発光で、長い期間高輝度を保ち、安定な発 光素子を提供することを目的とし、そのための新規な発光材料として、 特定の金属配位化合物を提供するものである。

本発明による金属配位化合物は、下記一般式 (1) で示される。

# $10 \qquad ML_{m}L'_{n}(1)$

15

[式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、Lおよび L は互いに異なる二座配位子を示す。mは1、2または3であり、nは0、1または2である。ただし、m+nは2または3である。部分構造MLmは下記一般式(2)で示され、部分構造ML nは下記一般式(3)、(4)または(5)で示される。



NとCは、それぞれ窒素および炭素原子であり、A, A' および A' はそれぞれ窒素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり、B, B' およびB' はそれぞれ炭素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり

WO 03/000661 PCT/JP02/06001

EおよびGはそれぞれ炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)または置換基を有していてもよい芳香環基 {該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、トリアルキルシリル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキ

10

15

ル基である。)、または炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示す。)を示す。〕

本発明の金属配位化合物は、前記一般式(1)においてnが0であること、前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(3)で示されること、前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(4)で示されること、前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(5)で示されることが好ましい。

また、前記一般式(1)においてXが炭素原子数2から6の直鎖状または分岐状のアルキレン基(該アルキレン基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一CO一、一CO一〇一、一〇一CO一、一CH=CHー、一C≡C一で置き換えられていてもよく、該アルキレン基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)であることが好ましい。

また、前記一般式(1)においてMがIrである金属配位化合物が好ましい。

20 また本発明は、前記金属配位化合物を含む層が、対向する2つの電極間に狭持され、該電極間に電圧を印加することにより発光する電界発光素子である。

特に電界を印加することにより、燐光発光する電界発光素子が好ましい。

# 25 [図面の簡単な説明]

図1は、本発明の発光素子の一例を示す概念図である。

(a) 有機層が2層の素子構成、(b) 有機層が3層の素子構成、(c) 4層の素子構成。

図2は、有機EL素子と駆動手段を備えたパネルの構成の一例を模式 的に示した図である。

5 図3は、TFT (薄膜トランジスター)を用いた画素回路の一例を示す図である。

[発明を実施するための最良の形態]

発光層が、キャリア輸送性のホスト材料と燐光発光性のゲストからなる場合、有機EL素子の発光効率を高めるためには、発光材料そのものの量子収率が大きいことは言うまでもないが、ホストーホスト間、あるいはホストーゲスト間のエネルギー移動を効率的に行うことが重要である。また、通電による発光劣化は今のところ原因は明らかではないが、少なくとも発光材料そのもの、または、その周辺分子による発光材料の環境変化に関連したものと考えられる。

15 そこで本発明者らは種々の検討を行い、前記一般式(1)で示される 金属配位化合物を見出し、さらに該発光材料を用いた有機EL素子が高 効率発光で、長い期間高輝度を保ち、通電劣化が小さいことを見出した。 前記一般式(1)で示される金属配位化合物のうち、nは好ましくは 0または1であり、より好ましくは0である。また部分構造ML'nが 1 前記一般式(3)で示される場合が好ましい。また前記一般式(1)に おいてXが炭素原子数2から6の直鎖状または分岐状のアルキレン基(該アルキレン基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は -O-、-S-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、該アルキレン基中の水 素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)である場合が好ましい。また式中MはIrまたはRhである場合が好ましく、Irの場合がより

15

好ましい。

本発明に用いた金属配位化合物は、燐光性発光をするものであり、最低励起状態が、三重項状態のMLCT\* (Metal-to-Ligand charge transfer) 励起状態か $\pi$ - $\pi$ \*励起状態と考えられる。これらの状態から基底状態に遷移するときに燐光発光が生じる。

光励起によるフォトルミネッセンスを利用して、燐光収率および燐光 発光寿命が得られる。

<物性測定方法>

10 以下本発明における物性値の測定方法を説明する。

(1) 燐光と蛍光の判定方法

燐光の判定は、酸素失括するかどうかで行った。化合物をクロロホルムに溶解し、酸素置換した溶液と窒素置換した溶液にそれぞれ光照射して、フォトルミネッセンスを比較すると、酸素置換した溶液は化合物に由来する発光がほとんど見られないのに対し、窒素置換した溶液はフォトルミネッセンスが確認できるので区別できる。以下本発明の化合物については、特別の断りがない時は全てこの方法で燐光であることを確認している。

- (2) ここで本発明で用いたりん光収率の求め方は、次式で与えられる。
- 20  $\Phi$  (sample)  $/\Phi$  (st) =[Sem (sample) /Iabs (sample)]/
  [Sem (st) /Iabs (st)]

Iabs (st):標準試料の励起する波長での吸収係数

Sem (st):同じ波長で励起した時の発光スペクトル面積強度

Iabs (sample):目的化合物の励起する波長での吸収係数

25 Sem (sample):同じ波長で励起した時の発光スペクトル面積強度 ここで言うりん光量子収率は Ir(ppy)。を標準試料とし、その量子収

15

20

25

率を1とした相対量子収率として与えられる。

# (3) 燐光寿命の測定方法

化合物をクロロホルムに溶かし、石英基板上に約0.1μmの厚みでスピンコートしたものを測定試料とする。これを浜松ホトニクス社製の発光寿命測定装置を用い、室温で励起波長337nmの窒素レーザー光をパルス照射し、励起パルスが終わった後の発光強度の減衰時間を測定する。

初期の発光強度をI。したとき、t砂後の発光強度Iは、発光寿命τを 用いて以下の式で定義される。

# $I = I_0 exp (-t/\tau)$

本発明の金属配位化合物の燐光収率は、0.11から0.8と高い値が得られ、燐光寿命は1~40μsecと短寿命である。

燐光寿命が長いと、有機EL素子にしたときに発光待ち状態の三重項励起状態の分子が多くなり、特に高電流密度時に発光効率が低下すると言う問題があった。よって発光効率を高めるためには、上記燐光寿命を短くすることが有効である。本発明の金属配位化合物は、高燐光発光収率を有し、かつ短かい燐光寿命をもつために、有機EL素子の発光材料に適した材料である。

また、後の実施例1で示すように本発明の特徴である前記一般式(2)のXで示されるアルキレン基により、分子内の環状基AとB(更に、部分構造ML'nが一般式(3)で示される場合には、X'で示されるアルキレン基により分子内の環状基A'とB')との間の2面角方向の回転振動が抑制されるために、本発明の金属配位化合物は発光する際に分子内でのエネルギー失活する経路が減少し、高効率の発光が達成されたものと考えられる。

また、前記アルキレン基の長さを適宜選択することにより分子内の環

状基AとBおよびA'とB'との間の2面角を変化させ、発光波長を調 節すること、特に短波長化が可能となる。

以上のような観点からも、本発明の金属配位化合物は有機EL素子の 発光材料として適している。

さらに、以下の実施例に示すように、通電耐久試験において、本発明 の金属配位化合物は、安定性においても優れた性能を示すことが明らか となった。本発明の特徴である前記アルキレン基が導入されたことによ る分子間相互作用の状態変化により、ホスト材料などとの分子間相互作 用を制御することができ、熱失活の原因となる励起会合体を形成するこ 10 とを抑制し、これにより素子特性が向上したものと考えられる。

<イリジウム配位化合物の合成>

本発明で用いられる前記一般式(1)で示される金属配位化合物の合 成経路を、イリジウム配位化合物を例として示す。

イリジウム配位化合物の合成

Ir 
$$(CH_3COCHCOCH_3)_3 \times L$$
 Ir  $(L)_3$ 

あるいは、

$$IrCl_3 \cdot 3H_2O \xrightarrow{2 \times L} [Ir (L)_2Cl]_2 \xrightarrow{L'} Ir (L)_2L'$$

以下本発明に用いられる金属配位化合物の具体的な構造式を表 1-1 15 ~表1-14に示す。ただし、これらは、代表例を示しただけで、本発 明は、これに限定されるものではない。

> 表 1-1~表 1-1 4 中の L 及 び L'に使用している L<sub>1</sub>~ L<sub>11</sub>'は以 下に示す構造を有する。

また、表1-1~表1-14のX及びX'に使用しているB~M'は

以下に示す構造を有する。

表1-10及び表1-11の環構造A"及びB"に使用している $Pi\sim$  Qn 2は以下に示す構造を有する。

また、表 $1-1\sim$ 表1-14のL, L'、環構造A"及びB"の置換基として存在する芳香環基、並びにE及びGに使用しているPh $2\sim$ Ph3は以下に示す構造を有する。

表1-1

衣.		Т													
No	M	m	п	L.	Х	R1	R2	X1	X2	ХЗ	X4	R7	R8	R9	R10
1	lr	3	0	L1	В	Н	Н	Н	Н	Н	Н	-	-	-	
2	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	F	н	Н	Н	-	-	-	
3	lr	3	0	L1	В	Н	Н	Н	F	Н	Н	-	-	1	
4	<u>Ir</u>	3	0	L1	В	Н	Н	F	F	H	Н	í	-	-	-
5	İr	3	0	L1	В	Н	Н	CF3	Н	Н	Н	-	-	-	
6	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	H	CF3	Н	Н	-	-	-	-
7	lr	3	0	L1	В	Н	Н	F	CF3	Н	Н	ı	1	1	_
8	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	CF3	F	Н	H	1	ı	1	
9	lr	3	0	L1	В	Н	Н	CI	CF3	Н	Н	-	1	ı	_
10	lr	3	0	L1	В	н	Н	CH3	Н	Н	Н	-	_	•	
11	Ir	3	0	L1	В	Н	н	Н	CH3	Н	H	_		-	
12	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	OCH3	H	Н	Н	_			
13	lr	3	0	LI	В	н	Н	H	OCH3	н	Н	-	-	-	
14	lr	3	0	L1	В	Н	Н	OCF3	H	H	H	_	_	-	
15	lr	3	0	L1	В	Н	Н	Н	OCF3	Н	H	_	-	-	
16	lr	3	0	L1	В	Н	Н	CI	Н	Н	Н	_	-	-	
17	lr	3	0	L1	В	Н	Н	H	CI	Н	H	- '	J	_	
18	lr	3	0	L1	. В	Н	Н	Br	н	Н	Н	_	-		
19	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	Н	Br	Н	Н	_	-	-	
20	ir	3	0	L1	В	Н	Н	H	OC4H9	Н	Н	1			
21	İr	3	0	L1	В	Н	H	OC4H9	H	Н	Н	-			
22	lr	3	0	L1	В	H	Н	H	OCH(CH3)2	H	Н	-		<u> </u>	
23	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	Br	Н	Н	Н				
24	Îr	3	0	L1	В	H	H	Н	Н	CI	Н	-			-
25	ir	3	0	L1	В	Н	Н	Н	Н	Н	Cl				
26	Îr	3	0	L1	В	Н	Н	Н	н	CF3	Н				
27	lr	3	0	L1	В	Н	Н	H	H	Н	CF3	_			
28	<u>Ir</u>	3	0	L1	В	Н	Н	Ph3	Н	<u>H</u>	Н				
29	lr	3	0	L1	В	H	Н	Ph3	Н	Н	CF3	-			-
30	<u>Ir</u>	3	0	LI	В	Н	Н	Ph2	Н	Н	H	Н	F	H	H
31	lr	3	0	L1	В	Н	Н	Ph2	Н	H	H	Н	H	CF3	H
32	Ir	3	0	L1	В	Н	Н	Tn5	Н	Н	H	H	Н		
33	lr.	3	0	L1	B	Н	Н	Np3	Н	Н	H	H	H		-
34	<u>Ir</u>	3	0	L1	В	H	H	н	Tn5	Н	H	H	H	<u> </u>	-
35	lr •	3	0	L1	В	H	H	Tn7	H	H	H	H	Н		
36	<u>lr</u>	3	0	Li	B	Н	<u>H</u>	Pe2	H	H	H	H	-		_
37	lr	3	0	L1	B	H	H	Tn8	H	Н	<u>H</u>	H	H	_	-
38	<u>lr</u>	3	0	L1	B	Н	H	Np4	H	H	H	H	<del>                                     </del>	<del>-</del> -	┝═┤
39	<u>lr</u>	3	0	L1	B	Н	H	Tn6	H	H	H	Н	H	<del> </del> -	<del>  -</del>
40	lr	3	0	L1	<u>B</u>	CH3	H	H	Н	H	H		_	-	
41	Ir	3	0	<u>L1</u>	В	CH3	H	F	H	H	H		<del>  -</del>	<u> </u>	<del> </del> -
42	İr	3	0	<u>L1</u>	В	CH3	H	CF3_	H	H	H	<u> </u>	<del>                                     </del>		1
43	ir	3	0	L1	B	CH3	Н	H	CF3	H	H	<u> </u>	<del>                                     </del>	<del></del>	<del>  -</del>
44	<u>Ir</u>	3	0	L1	В	CH3	Н	F	CF3	H	H	<del>                                     </del>	-	<del>  -</del>	1
45	Ir In	3	0	L1	B	H	CH3	CF3	F	H	Н	<del>  -</del>	<del>  -</del>	-	<del>  -</del>
46	lr I-	3	10	L1	B	H	CH3	CI	CF3	H	H	<del>  -</del> -	<u> </u>	<del>  -</del>	<del>-</del>
47	lr I	3	0	L1	В	H	CH3	OC4H9	H	H		<del>  -</del>	┝═		1
48	lr In	3	0	L1	B	H	CH3	H	OCH(CH3)2	H	H	H	F	-	
49	lr I=	3	10	L1	B	H	CH3	Ph2	Н	H	H	H	H	<u>H</u>	H -
50	<u>lr</u>	3	0	L1	В	H	CH3	Np3	Н	<u>H</u>	<u> </u>				لللل

表1-2

<u> </u>									,					,	
No	М	m	n	L	Х	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
51	Ir	3	0	L1	В	Н	CH3	Tn6	Н	Н	Н	Н	H	-	
52	lr	3	0	L1	В	CH3	CH3	Н	H	H	Н	-	ı	_	_
53	lr	3	0	L1	С	Н		Н	Н	Н	Н	-	1	-	
54	lr	3	0	L1	С	H	_	F	Н	Н	H	ı	1	-	
55	lr	3	0	L1	C	Н	-	H	F	Н	H	1	-	-	_
56	Ir	3	0	L1	C	H	-	·F	F	Н	Н	-	-	-	-
57	lr	3	0	L	C	Н	_	CF3	Н	Н	Н	-	-	_	
58	İr	3	0	L1	С	Н	_	Н	CF3	Н	Н	-	ı	-	_
59	lr	3	0	L1	С	Н	-	F	CF3	Н	Н	_	1	_	_
60	İr	3	0	L1	С	Н	_	CF3	F	Н	H	-	-	_	_
61	lr	3	0	L1	С	н	-	Cl	CF3	Н	Н	-		-	_
62	lr	3	o	L1	С	н	_	CH3	Н	Н	Н	_	_	-	_
63	Ir	3	0	L1	С	Н		H '	CH3	Н	H	_	_		-
64	Ir	3	0	L1	c	Н		OCH3	Н	Н	Н	_	_	_	_
65	Ir	3	0	L1	Ċ	Н		Н	OCH3	Н	H	_	_	_	
66	Ir	3	0	L1	c	Н	_	OCF3	H	Н	Н	_	_	_	
67	Îr	3	Ö	납	c	H	_	H	OCF3	Н	Н	-			_
68	Îr	3	Ö	Lī	C	H	_	Cl	H	H	Н				
69	Îr	3	0	<u>L1</u>	C	H		H	CI	Н.	Н	_	_	-	
70	İr	3	0	L1	C	н	-	Br	Н	H	H	_			
71	ir	3	0	L1	c	Н		Н	Br	H	H	_		<del></del>	
72	lr	3	0	L1	c	Н		Н	OC4H9	Н	Н		<u> </u>	<del>                                     </del>	
73	lr	3	0	L1	C	H		OC4H9	Н	Н	Н	_		<u> </u>	_
74	Ir	3	0	L1	C	H		Н	OCH(CH3)2	<del></del>	H		_		<del>-</del> -
75	lr	3	0	L1	C	Н		Br					<del></del>		
		_				H			H	H	H				
76	İr	3	0	L1	C			Н	H	CI	H				
77	İr	3	0	L1	C	H		Н	H	H	CI			-	-
78	<u>Ir</u>	3	0	듸	Ç	Н.		H	H	CF3	H				_
79	<u>ir</u>	3	0	L1	C	Н		H	Н	H	CF3				<u> </u>
80	lr	3	0	L1	C	H		Ph3	H	H	Н				
81	İr	3	0	L1	С	Н		Ph3	Н	H	CF3	-			
82	<u>Ir</u>	3	0	L1	C	Н	-	Ph2	Н	H	Н	Н	F	Н	Н
83	ir	3	0	<u>L1</u>	C	Н		Ph2	Н	H	Н	H	Н	CF3	Н
84	Ir	3	0	L1	С	Н		Tn5	H	Н	H	Н	H		-
85	lr	3	0	L1	С	H		Np3	Н	Н	Н	Н	Н	_	-
86	Ir	3	0	L1	C	Н	-	H	Tn5	Н	Н	H	H		
87	Ir	3	0	L1	C	Н		Tn7	Н	Н	Н	Н	Н		
88	lr	3	0	L1	C	Н		Pe2	Н	Н	Н	Н			_
89	Ir	3	0	L1	C	Н	-	Tn8	H	H	Н	Н	Н		
90	Ir	3	0	LI	C	Н	_	Np4	Н	Ξ	Н	Н		-	
91	Ir	3	0	L1	C	Н	-	Tn6	Н	Н	Н	Н	Н		
92	Ir	3	0	L1	С	CH3	-	Н	Н	Н	Н			_	
93	Ir	3	0	L1	С	CH3	-	F	Н	Н	Н	-	-		-
94	Ir	3	0	L1	С	CH3	-	CF3	H	Н	Н	-		-	-
95	Ir	3	0	L1	C	СНЗ	<del>-</del>	Н	CF3	Н	Н	_	-	-	-
96	Ir	3	0	L1	C	CH3		F	CF3	Н	Н	_	-	-	-
97	Ir	3	0	L1	C	CH3		CF3	F	H	Н		-	-	-
98	Īr	3	0	Li	Ċ	CH3		CI	CF3	Н	Н	_	_	-	_
99	Ir	3	0	L1	Č	СНЗ	_	OC4H9	Н	Н	Н		<del>  -</del>	_	
100	İr	3	0	L1	c	CH3	<del>  _</del>	H	OCH(CH3)2	H	Н		-	_	<del>  -</del>
100	п.	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		LOUS	<u> </u>		JOUNIONS)Z			ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	<u> </u>	<u> </u>	

表1-3

No	М	m	n	L	х	R1	R2	X1	X2	ХЗ	X4	R7	R8	R9	R10
101	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	н	Н	Н	-	-	_	
102	Rh	3	0	LI	В	Н	Н	F	Н	Н	Н	_	_	-	
103	Rh	3	0	LI	В	Н	Н	Н	F	Н	Н	-		-	
104	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	F	F	Н	Н	_		-	
105	Rh	3	0	Lī	В	Н	Н	CF3	Н	Н	Н	-	_	-	_
106	Rh	3	0	L1	В	Н	н	Н	CF3	Н	Н	-	-	-	
107	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	F	CF3	Н	Н	-	-	-	
108	Rh	3	0	L1	В	н	Н	CF3	F	Н	Н	-	-	-	-
109	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Cl	CF3	Н	н	-	-	-	_
110	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	СНЗ	Н	Н	Н	1	-	-	-
111	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	CH3	Н	Н	-	_	-	-
112	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	OCH3 ·	Н	Н	Н	-	-	-	_
113	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	ОСН3	Н	Н	-	-	-	
114	Rh	3	0	L1	В	Н	н	OCF3	Н	Н	Н	-	-	-	
115	Rh	3	0	L1	В	H.	Н	Н	OCF3	Н	H	_	1	_	
116	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Cl	Н	Н	Н		_	_	
117	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	Cl	Н	Н	_	1	_	-
118	Rh	3	0	L1	B	Н	Н	Br	Н	Н	H	-	1	-	_
119	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	Br	H	Н	-	1	1	-
120	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	OC4H9	Н	Н	-	1	1	_
121	Rh	3	0	LI	В	Н	H	OC4H9	Н	Н	Н	1	1	-	_
122	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Н	OCH(CH3)2	Н	Н	1	ı	-	-
123	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	Br	Н	Н	H	1	1	1	-
124	Rh	3	0	L1	В	Н	Н	H	H	CI	Η	1	-	-	
125	Rh	თ	0	L1	В	Н	H.	H.	Н	Н	CI	1	-		
126	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	Н	Н	CF3	H	_	_	_	
127	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	Н	Н	H	CF3	-	-	_	
128	Pt	2	0	L1	В	H	Н	Ph3	H	<u>H</u>	Н			_	
129	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	Ph3	Н	Н	CF3				
130	Pt	2	0	<u>L1</u>	В	Н	Н	Ph2	Н	H	Н	Н	F	Н	н
131	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	Ph2	Н	Н	Н	Н	Н	CF3	H
132	Pt	2	0	LI	В	Н	Н	Tn5	H	H	Н	<u>H</u>	Н	-	
133	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	Np3	Н	Н	H	H	Н		
134	Pt	2	0	L1	В	Н	Н	H	Tn5	Н	H	H	Н		
135	Pt	2	0	L1	В	н	H	Tn7	н	Н	Н	н	Н		
136	Pt	2	0	L1	В	СНЗ	H	F	Н	Н	H			<u> </u>	┝╌┤
137	Pt	2	0	<u>L1</u>	В	CH3	Н	CF3	Н	Н	H		<u> </u>		-
138	Pt	2	0	<u>L1</u>	В	CH3	Н	H	CF3	Н	Н		<u> </u>	_	-
139	Pt	2	0	L1	В	СНЗ	Н	F	CF3	H	Н	<u>  -</u>	<b>├</b> ─	<u> </u>	-
140	Pt	2	0	L1	В	CH3	Н	Н	Н	Н	Н		_	<u> </u>	$\vdash$
141	Pd	2	0	L1	В	CH3	H	F	Н	H	H	<u> </u>	<u> </u>		누긔
142		2	-	L1	В	CH3	Н	CF3	H	H	H		-		
143	Pd	2	0	1.1	В	CH3	<u> </u>	H	CF3	H	H		<u> </u>	<u> </u>	$\vdash$
144	Pd	2	0	<u>L1</u>	B	CH3	H	F	CF3	H	H			<b>├</b>	
145	Pd	2	0	<u>L1</u>	B	H	CH3	CF3	F	H	H	_		<b>  -</b> -	
146	Pd	2	0	<u>  L1</u>	В	H	СНЗ	CI	CF3	H	H		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
147	Pd	2	0	<u>L1</u>	B	H	CH3	OC4H9	H	H	H	<u> </u>		<del> </del>	
148	Pd	2	0	<u>L1</u>	B	<u>H</u>	CH3	H	OCH(CH3)2	H	н,	<del></del>	-	-	-
149	Pd	2	0	<u>L1</u>	B	Н	CH3	Ph2	Н	<u> </u>	H	H	F	H	H
150	Pd	2	0	L1	В	H	СНЗ	Np3	H	H	H	Н	H	<u> </u>	ا تــا

表1-4

	•••			. 1	J.	<b>D4</b> 1	- DO T	V4	V0 T	va l	VA I	D7			D10
No	М	m	n	ᆜ	X	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
151	<u>lr</u>	3	0	LI	D	Н	<u>H</u>	Н	Н	Н	Н				
152	<u>lr</u>	3	0	L1	D	H	H	F	<u>H</u>	H	H		-		
153	<u>Ir</u>	3	0	L1	D	Н	Н	H	F	H	Н	_			
154	<u>lr</u>	3	0	L1	D	Н	H	<u> </u>	F	Н	Н	-			
155	lr	3	0	<u>L1</u>	D	Н	<u> </u>	CF3	Н	Н	Н		-	-	
156	Ir	3	0	L1	D	Н	н	Н	CF3	Н	Н		-		
157	lr	3	0	L1	D	Н	Н	F_	CF3	Н	Н		-	_	_
158	lr	3	0	L1	D	Н	<u>H</u>	CF3	F	Н.	Н	_			
159	lr	3	0	L1	D	Н	<u>H</u>	Cl	CF3	Н	Н		-		
160	Ir	3	0	L1	D	н	н	CH3	Н	Н	н	-			
161	İr	3	0	L1	D	Н	H	H	CH3	Н	Н			_	
162	lr	3	0	L1	D	CH3	H_	OCH3	Н	Н	Н	-	-	_	
163	lr	3	0	L1	٥	H	CH3	Н	OCH3	Н	Н	-	-	-	
164	Ir	3	0	LI	D	CH3	CH3	OCF3	Н	Н	H	1	ı	-	
165	lr	3	0	L1	D	Н	Н	Н	OCF3	Н	Н	1	-	_	
166	İr	3	0	L1	E			Η٠	н	Н	Н	1		-	_
167	lr	3	0	L1	E			Н	CI	Н	Н	_	_	_	
168	lr	3	0	L1	E	-	-	Br	н	Н	Н	ı	ı	1	-
169	lr	3	0	L1	E	-	-	Н	Br	Н	Н	-	-	_	-
170	lr	3	0	L1	E		_	Н	OC4H9	Н	Н	1	-	-	-
171	Ir	3	0	L1	F	н	_	Н	Н	Н	Н	-	-	-	
172	Îr	3	0	L1	F	Н		Н	OCH(CH3)2	Н	Н	-	-	_	-
173	Ir	3	0	LI	F	Н	-	Br	Н	Н	Н	-	-		_
174	Îr	3	0	L1	F	Н	_	Н	Н	CI	Н	_	-	_	-
175	Îr	3	0	L1	F	C2H5	_	Н	Н	Н	CI		-		_
176	Ir	3	6	LI	G	Н	-	Н	Н	CF3	Н	_	-	_	-
177	<u>l</u> r	3	6	Lī	G	H		Н	Н	Н	Н	_	_	_	-
178	Îr	3	0	L1	G	Н	_	Ph3	Н	Н	Н	-	_	_	_
179	<u>I</u> r	3	6	Li	G	H	_	Ph3	Н	Н	CF3	_	-		_
180	Îr	3	ō	L1	G	Н	-	Н	Н	Н	Н	-	_	_	-
181	Ir	3	ō	Li	H	H	_	Ph2	Н	H	H	Н	Н	CF3	H
182	Ir	3	ō	Lī	H	Н	_	Tn5	Н	Н	Н	Н	H	_	_
183	Ir	3	0	LI	H	H		Np3	H	H	H	Н	H	_	_
184	Ir	3	0	L1	H	СНЗ	_	Н	Tn5	H	H	H	H		-
185	lr	3	0	Li	H	H		Tn7	Н	H	H	н	H		_
186	Îr	3	0	LI	ï	H	Н	H	Н	H	H	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>  _</del>	_
187	Ir	3	6	Li	i	H	H	Tn8	Н	H	H	Н	Н	<del>  _</del>	<del>  -</del>
188	Ir	3	6	Li	i	H	Н	Np4	Н Н	H	H	H	<del>  "</del>	-	<u> </u>
189	Ir	3	0	L1	H	H	H	Tn6	Н	H	H	H	Н	-	
190		3	0	L1	ī	СНЗ	Н	Н	Н	H	H	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>	<del>  -</del>	
191	Ir Ir	3	0	L1	1	Н	Н	F	Н	H	H	<del>  </del>	<del>  _</del>	_	<del>  _</del> -
	_	3	-	_	<del>-</del>	H	Н	CF3	н	H	H	-	<del>  -</del>	-	_
192		3	0	L1	J	H	H	H	CF3	Н	H	<del>  -</del>	<del> </del>	<del>  -</del>	-
193	Ir I-	-	-	L1	+			F	CF3	H	H	<del>  -</del>	<del>-</del> -	-	-
194	<u>Ir</u>	3	0	L1	1	CH3	Н		F F	H	H	<del>                                     </del>	<del>  _</del>	<del>-</del>	<del>                                     </del>
195	Ir I-	3	10	L1	J	H	CH3	CF3		H	H	=	<del>  -</del>	-	<u> </u>
196	<u>Ir</u>	3	0	L1	K	-	H	CI	CF3	<del></del>		H	+-	<del>-</del>	<del>-</del>
197	Ir	3	0	L1	K	<del>  -</del> -	H	OC4H9	H	H	H	┼	<del>  -</del>	+=	┢ <u>╤</u>
198	<u>Ir</u>	3	0	L1	K	<del>  -</del> -	<u> </u>	H	OCH(CH3)2	_	H	<del>  -</del>			<del>-</del>
199	<u>Ir</u>	3	10	111	K		H	Ph2	<u>H</u>	<u> </u>	H	H	F	H	H
200	lr	3	0	<u>  L1</u>	K	<u> </u>	CH3	Np3	<u> </u>	H	Н	H	Н		

表1-5

3X 1															
No	M	m	n	L	X	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
201	Ir	3	0	L1	М	Н	-	Н	Н	Н	Н	-	-	-	-
202	Ir	3	0	L1	М	Н	-	F	Н	Н	Н	_	_	-	_
203	Ir	3	0	L1	M	Н	-	Н	F	H	Н	_	_	-	
204	Ir	3	0	L1	N	Н	Н	Н	Н	Н	Н	_	_	-	-
205	lr	3	0	L1	N	Н	Н	CF3	Н	Н	н	_	-	-	-
206	Ir	3	0	L1	N	СНЗ	Н	Н	CF3	Н	Н	-	-	-	
207	İr	3	0	L1	0	Н	Н	F	CF3	Н	H	-	-	-	_
208	İr	3	0	L1	0	Н	Н	CF3	F	Н	Н	_	_	_	-
209	Ir	3	0	L1	0	Н	Н	CI	CF3	Н	Н	_	-	-	_
210	Ir	3	0	L1	P	_	Н	н	Н	Н	Н		-	-	
211	lr	3	0	L1	Р	<u> </u>	Н	Н	CH3	Н	Н	_		_	
212	Ir	3	0	L1	Р	_	Н	OCH3	Н	H	H	_	-	_	
213	Ir	3	o	L1	Q	Н		Н	Н	Н	H	_		_	
214	lr	3	ō	LI	Q	Н	_	OCF3	Н	H	Н	_		_	
215	lr	3	ō	Lī	G	H	_	H	OCF3	Н	H			-	_
216	lr	3	Ö	Li	R	H		H	H	Н	Н				
217	lr	3	ō	L1	R	H		Н	CI	Н	H	-	_		
218	lr	3	0	L1	R	Н	_	Н	H H	Н	Н	_	<u> </u>		
219	lr	3	ō	Lī	S	Н		н н	Br	Н	Н	<u> </u>	<u> </u>		
220	lr	3	0	L1	S	Н	-	Н.	OC4H9	Н	H		-		<del>-</del> -
221	Îr	3	0	Lī	S	Н		OC4H9	Н	Н	H		<u> </u>		_
222	lr	3	6	11	T							-	<u> </u>		$\vdash$
223	lr	3	0	L1	Ť			H P-	H	H	H	-			
224		3	_	L1	T			Br				<u> </u>	<del></del> -	<u> </u>	
	lr to	$\overline{}$	0					Н	H	H	H				
225 226	lr I-	3	0	<u>L1</u>	U			H	H	Н	CI				
-	lr	3	0	니	U		-	H	<u> </u>	CF3	H		-	-	-
227	<u>lr</u>	3	0		U			H	H	H	CF3	_			
228	lr	3	0		V	<u> </u>		H	H	H	H	<u> </u>		<u> </u>	-
229	<u>Ir</u>	3	0	L1	V	H	-	Ph3	Н	Н	Н			<u> </u>	-
230	<u>lr</u>	3	0	L1	V	H		Ph2	Н	H	Н	H	F	H	_H
231	İr	3	0	<u>L1</u>	W	-	-	H	H	H	Н		<u> </u>		
232	Ir	3	0	L1	W	_		Tn5	H	Н	Н	. H	H		
233	Ir	3	0	L1	W			Np3	Н	Н	Н	<u> </u>	<u> </u>		-
234	lr	3	0	L1	Υ	H	-	Н	Н	H	Н	-	_	-	_
235	Ir	3	0	L1	Y	Н	-	Tn7	Н	H	Н	Н	H		
236	lr	3	0	L1	Υ	Н	-	Pe2	Н	Н	Н	Н			<u></u>
237	Ir	3	0	L1	Z	-		Н	Н	Н	Н				-
238	<u>Ir</u>	3	0	L1	Z	_		Np4	Н	Н	Н	H	-		-
239	lr	3	0	L1	Z	-	-	Tn6	Н	Н	Н	H	Н		
240	lr	3	0	<u>L1</u>	Α'	Н	-	H	Н	. H	H	-	-	-	_
241	Ir	3	0	LI	A,	Н	-	F	Н	Н	Н		_		-
242	lr	3	0	L1	A'	CH3	1	CF3	Н	Н	Η		_	_	_
243	lr	3	0	L1	B'	-	Н	Н	Н	Н	Ξ	-	_		
244	lr	3	0	L1	B'	-	Н	F	CF3	Н	Ŧ		-		
245	lr	3	0	Li	B'	-	CH3	CF3	F	Н	Н				-
246	Ir	3	0	L1	C'	Н	Н	Cl	CF3	Н	Н	-	-	-	-
247	Ir	3	0	L1	C,	Н	Н	OC4H9	Н	Н	Н	-	-	-	-
248	Ir	3	0	L1	C,	Н	СНЗ	Н	Н	Н	Н	_	-	-	-
249	lr	3	0	L1	D,	Н	-	Ph2	Н	Н	Н	Н	F	Н	Н
250	Ir	3	0	L1	D'	СНЗ	-	Np3	Н	H	Н	Н	Н	-	_
		<u> </u>		<del></del>			<del></del>		— <u></u>			<u> </u>	<u> </u>		

表1-6

<u> </u>				. 7	v I	D4 I	20	V1	Va I	хз	X4	R7	R8	R9	R10
No	M	m	_n	느	X	R1	R2	X1	X2			Κ/		- 10	אוט
251	<u>Ir</u>	3	0	L1	D,	H	Н	• Н	Н	H	<u>H</u>		-	_	
252	lr	3	0	L1	E'	Н	Н	н	H	<u>H</u>	Н.	_=_			
253	Ir	3	0	L1	<u>E'</u>	Н	Н	<u>H</u>	F	H	H			_	
254	lr	3	0	L1	<u>E'</u>	Н	СНЗ	F	<u>F</u>	H	H				—
255	<u>Ir</u>	3	0	L1	F		-	CF3	<u>H</u>	Н	H		-		
256	lr	3	0	L1	F'			Н	H	Н	Н		-		_
257	İr	3	0	L1	F			F	CF3	Н	Н		_		-
258	lr	3	0	L1	F			CF3	F	Н	Н				
259	lr	3	0	L1	F		_	CI	CF3	H	Н				$\vdash$
260	<u>Ir</u>	3	0	L1	G'		-	н	Н	н	н		-		
261	lr	3	0	L1	G'	-		Н	CH3	H	Н		_		
262	lr	3	0	L1	G'		-	OCH3	Н	H	Н	_	_	_	
263	lr	3	0	L1	G'		-	Н	OCH3	H	Н			_	
264	lr	ფ	0	L1	Ĝ		-	OCF3	Н	Н	Н	_	-		
265	lr	3	0	Ľ	Ğ		_	H	OCF3	H	н	_		_	
266	lr	3	0	L1	H'	-	_	H	Н	H	H	-		-	
267	Ìr	3	0	L1	H'		_	Н	CI	Н	Н	-	-		
268	lr	3	0	L1	H'	_	_	Br	Н	Н	Н	1			
269	İr	3	0	LI	H'	-	_	Н	Br	Н	Н	1	-	-	
270	lr	3	0	L1	H'		-	Н	OC4H9	Н	Н	-	-	-	
271	lr	3	0	L1	ľ	- "		Н	Н	Н	Н	-	-	-	-
272	Ir	3	0	L1	ľ		_	Н	OCH(CH3)2	Н	Н	-	-		
273	Ir	3	0	L1	ľ		-	Br	Н	Н	Н	-	<del>-</del>	-	-
274	Ir	3	0	LI	ľ	_		Н	Н	CI	Н	-	-	-	-
275	Ir	3	0	LI	ľ	_		Н	Н	Н	CI	-	-	-	-
276	Ir	3	ō	L1	J'	-	_	Н	Н	Н	Н	-	-	_	-
277	Îr	3	0	Li	J'		_	Н	Н	Н	CF3	-	T -	-	-
278	Ir	3	0	Li	J'			Ph3	Н	Н	H	_	-	_	-
279	<u>Ir</u>	3	10	Lī	J'	_	_	Ph3	Н	Н	CF3	-	-	-	-
280	İr	3	ō	LI	J'	_	_	Ph2	Н	н	Н	Н	F	Н	Н
281	lr	3	0	Lī	K'	_		Ph2	Н	Н	Н	Н	Н	CF3	н
282	İr	3	0	Li	K'	_	_	Н	Н	Н	Н	-	<u> </u>	-	_
283	Îr	3	0	Li	K'			Np3	Н	Н	Н	Н	Н	-	T = 1
284	Îr	3	0	Li	K'	-	_	Н	Tn5	Н	H	Н	Н	-	-
285	Îr	3	Ö	Li	K'	Ι-		Tn7	Н	H	H	H	H	-	-
286	Rh	3	10	Li	C	н	_	Pe2	Н	H	H	H	-	T -	<b>Τ</b> -
287	Rh	3	10	L1	C	H	_	Tn8	H	H	H	H	Н	-	Τ-
288	Rh	3	10	L1	C	H	<del>  _</del>	Np4	H	Н	H	H	-	-	-
289	Rh	3	10		ī	<del>  </del>	Н	Tn6	H	H	H	H	н	<del>  -</del>	T-
290	Rh	3	10	Li	D,	CH3		Н	Н	H	H	<del>                                     </del>	1 -	-	<b> </b> -
291	Rh	3	10		F	10113	_	F	H	H	H	<del>  -</del>	<del>  -</del>	1 -	<b>†</b> –
	-	<del>-</del>	0	<del>     </del>	C	H	<del>-</del>	CF3	H	H	H	-	+-	† <u>-</u>	1-
292			10	Li	0	H	H	H	CF3	H	H	-	<del>  _</del>	1=	1 -
293			-	+		_	<u> </u>	F	CF3	H	H	<del>  _</del>	1 -	+=	<del>  -</del>
294	_		10	<u>L1</u>	Z D'			+	F	H	H	+	<del>  _</del>	<del>  _</del>	+-
295	_		-	L1	F'	H	1-	CF3		뮤	H	-	+=	<del>  -</del>	<del>  _</del>
296	-		_	L1	-	<u> </u>	-	CI	CF3	H	뉴	+-	+=	+-	+
297	_	_	_	L1	H'	<del>  -</del> -	<del> </del> -	OC4H9	Н ОСН(СН3)2		H	+-	+-	+-	+-
298	+-	_		_	1	<del>  -</del>	<del>  -</del>	H		H	뉴	H	F	H	++
299		_	_	-	↓ G	H	-	Ph2	Н _	H	H	H	H	<del>                                     </del>	+=
300	Pd	2	10	<u>  L1</u>	C	<u>  H</u>	_	Np3		1 1	<u> </u>	<u> </u>		ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

表1-7

~		<u> </u>							150	140	100				
No	М	m	n	느	X	R1	R2	X1	X2	X3	X4	R7_	R8	R9	R10
				L'	X.	R1	R2	X1'	X2'	X3,	X4'	R7	R8	R9	R10
301	lr	2	1	L1	В	Н	Н.	<u>H</u>	Н	Н	Н	_			
				L1'	В	Н	<u>H</u>	F	Н	Н	Н		-	_	-
302	lr	2	1	L1	В	Н	Н	Н	Н	Н	Н		_	_	_
002		Ĺ		LI'	В	Н	<u>H</u>	Н	F	H	Н	_	_		-
303	ir	2	1	L1	В	H	н	Н	H	Н	Н	_		-	
000		٢		L1'	В	Н	H	F	F	Н	Н	-		_	
304	İr	2	1	L1	В	Н	Н	Н	H	Н	H	-	*	1	1
304	4		•	L1'	В	Н	Н	CF3	H	Н	Н	-	-	•	1
305	İr	2	1	L	В	Н	Н	Н	H	Н	Н	-	_	_	_
303	ш	4	' !	L1	В	Н	Н	Н	CF3	Н	H	_	-	-	-
200				LI	В	Н	Н	Н	H	Н	Н	_	_	_	_
306	lr	2	1	L1	В	Н	Н	F	CF3	Н	Н	_	-	_	-
007	•	_		Lī	В	Н	Н	Н	Н	Н	Н	_	-	-	_
307	Ir	2	1	L1	В	Н	Н	CI	CF3	Н	Н				
				Lī	В	Н	Н	Н	H	Н	Н				
308	Ir	2	1	Li'	В	Н	H	CH3	Н	H	Н	_	_	_	_
	_		_	LI	В	H	Н	Н	Н	Н	Н	_	_	_	l _
309	lr	2	1	L1'	В	Н	Н	OCF3	H	H	Н				-
	-			L1	В	H	Н	Н	H	Н	H				
310	Ir	2	1	Li	В	H	H	Н	OC4H9	Н	Н				<del></del>
		Н		Li	В	Н	Н	OC4H9	Н	H	H		<del>  _ </del>	_	-
311	Ir	2	1	Li	В	H	H	Н	OCH(CH3)2	Н	Н		<del></del>		
		$\vdash$		L1	В	H	Н	Br	H	H	Н		<del></del> -		
312	İr	2	1	访	В	H	H	Н	Н	CI	H		_		<del>                                     </del>
		$\vdash$			В	H	Н	H	H	H	Ci	1	<del>-</del>	<del>-</del>	_
313	İr	2	1		В	Н	Н	Н	Н	CF3	5 H	_	<u> </u>	<del>-</del>	<del>-</del>
		-		L1	В	H	Н	H	. н	Н	CF3		<del>-</del> -		
314	lr	2	1	L1'		H			H				<del>  -</del>		
					В		H	Ph3		H	H		<u> </u>		
315	lr	2	1	<u>L1</u>	В	Н	Н	Ph3	Н	Н	CF3	-			<del></del>
<u> </u>		-		L1'	_ <u>B</u> _	Н	Н	Ph2	Н	Н	H	H	F	H	H
316	lr	2	1	L1	В	Н	Н	Ph2	H	H	Н	H	H	CF3	Н
				L1'	В	Н	Н	Tn5	Н	Н	Н	Н	H		
317	ir	2	1	L1	В	Н	H	Np3	<u>H</u>	Н	Н	H	H	<u> </u>	
				L1'	В	Н	Н	H	Tn5	Н	Н	Н	H	<u> </u>	
318	Ir	2	1	L1	B	Н	H	Tn7	H	Н	Н	Н	Н		<u> </u>
	ļ	Ļ	Ŀ	L1'	<u>B</u>	Н	Н	Pe2	H	H	Н	H	-		<u> </u>
319	Ir	2	1	<u>L1</u>	В	Н	Н	Tn8	Н	Н	Н	H	Н		
	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	L1'	В	Н	H	Np4	Н	Н	Н	Н		_	_
320	[r	2	1	L1	В	Н	Н	Tn6	H	H	Н	H	H	<u> </u>	
	<u> </u>		Ŀ	L1'	B	СНЗ	Н	Н	Н	Н	H		<u> </u>		
321	Ir	2	1	L1	В	СНЗ	Н	F	Н	Н	Н	_			
UZ 1	L <u>"</u>		Ľ	L1'	В	CH3	Н	CF3	H	Н	Н	_			
322	ī-	2	1	L1	В	CH3	Н	Н	CF3	Н	Н	-	<u> </u>		
322	Ir	2	L'	L1'	В	CH3	H	F	CF3	H	Н	_		-	-
200		_	Ī.	L1	В	Н	CH3	CF3	F	Н	Н	-	-	_	T -
323	Îr	2	1	L1'	В	Н	СНЗ	CI	CF3	Н	H	-	-	-	-
			1	LI	В	Н	СНЗ	OC4H9	Н	Н	Н	-	_	-	_
324	lr	2	1	Lir	В	H	CH3	H	OCH(CH3)2		Н	-	_	_	
	· ·	T_	Ι.	LI	В	Н	CH3	Ph2	H	Н	Н	Н	F	Н	H
325	İr	2	1	LI	В	H	CH3	Np3	Н	H	H	H	H	<del>-</del>	<del>  <u> </u></del>
	<u> </u>		Ь	<u> </u>			CIN	1400		<del></del>	<u> </u>	_::_			ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

表1-8

No					L	Х	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
326	No	M	m	n	L'											
1		_			L1				_						_	_
327	326	lr	2	1									_	_	_	_
328   1			_	•	Lī	В		Н					_	-	-	_
328	327	ır	2	1	L1'	C							_	-	_	_
328   1		•		•	L1	В		Н					_	-	-	_
329	328	ır	2	1	L1'	C		_					_	_	-	_
339   1	200			•	L1	В		Н	Н	Н			_	-	_	_
330   Ir   2   1   11   8   H   H   H   H   H   H   H   H   H	329	ır	Z	'		С		1				Н	_	-	-	1
330   Ir   2   1   11   C   H   -   C   CF3   H   H   H   -   -   -   -   -   -   -	220			,	L1	В		Н	Н				-	-	1	_
331   Ir   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	330	ır	Z	•	L1'	С	н	1					_	-	-	_
133	224			,	L1	В	Н	Н	Н		Н		_	-	-	-
332	331	ır	2	1	L1'	D							-		-	_
332   Ir   2   1   1   E     H   OC4H9   H   H         -   -	200			4		В								-	-	
333	332	lr.	2	1									-	-	_	_
333				_			н	н						-		_
334	333	lr	2	1									-	_	_	_
335   Ir   2   1   1   1   1   8   H   H   H   H   H   H   H   H   H		_		$\overline{}$		_		Н					-	_		
335   Ir   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	334	Ir	2	1									_	_	_	_
336 Ir 2 1 L1 H H H - Ph2 H H H H H H CF3 H  336 Ir 2 1 L1 B H H H H H H H H H H  337 Ir 2 1 L1 B H H H CF3 H H H H H H  338 Ir 2 1 L1 B H H H H H H H H H H H H H H H H H H		_													_	$\vdash$
336   Ir   2   1	335	Ir	2	1										Н		н
337				_				Н							5.0	
337   Ir   2   1   L1   B   H   H   Br   H   H   H   H   -   -   -   -   -   -	336	Ir	2	1											-	$\vdash$
338   Ir   2   1   11   3   14   14   15   15   16   17   17   17   18   18   18   18   18	1												-	-	-	$\vdash$
338 Ir 2 1 L1 B H H H H H H H H H H H H H H H H H H	337	lr	2	1									_			
339   Ir   2   1   L1   K   -   CH3   Np3   H   H   H   H   H   H   -   -   -   339   Ir   2   1   L1   B   H   H   H   H   H   H   H   CF3   -   -   -   -   -   340   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph3   H   H   CF3   -   -   -   -   -   341   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph2   H   H   H   H   H   CF3   H    342   Ir   2   1   L1   B   H   H   Np3   H   H   H   H   H   H   CF3   H    343   Ir   2   1   L1   B   H   H   Np3   H   H   H   H   H   H   H   -   -   -	200	-		_	L1								_	-	-	_
339   Ir   2   1   L1   B   H   H   H   H   H   CF3           340   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph3   H   H   CF3           341   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph3   H   H   CF3   H   H         342   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph2   H   H   H   H   H   CF3   H    342   Ir   2   1   L1   B   H   H   Ph2   H   H   H   H   H   H   CF3   H    343   Ir   2   1   L1   B   H   H   Np3   H   H   H   H   H   H	338	Ir	2	1									н	Н		
340 ir 2 1 Li' M H - H Ph3 H H CF3	200	-			LI		Н								-	_
340 Ir 2 1 L1 B H H Ph3 H H CF3	339	lr	2	1				-					_		_	
340         Ir         2         1         L1'         N         CH3         H         H         CF3         H         H         -		_			LI			Н		Н			_	-	_	
341 Ir 2 1 1 B H H Ph2 H H H H H CF3 H  342 Ir 2 1 1 L1 B H H H Np3 H H H H H H H  343 Ir 2 1 1 L1 B H H Tn7 H H H H H H  344 Ir 2 1 1 L1 B H H Tn8 H H H H H H H  345 Ir 2 1 1 L1 B H H H Tn6 H H H H H H  346 Ir 2 1 1 L1 B CH3 H F H H H H H H H H H H  347 Ir 2 1 1 L1 B CH3 H F H H H H H H H H H H H  348 Ir 2 1 1 L1 B CH3 H F H H H H H H H H H H H H H H H H H	340	Ir	2	1	_	N							_	-		_
341         Ir         2         1         L1'         O         H         H         CI         CF3         H         H         -		_											Н	Н	CF3	н
342         Ir         2         1         L1         B         H         H         Np3         H </td <td>341</td> <td>lr</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td>-</td> <td>_</td>	341	lr	2	1									_		-	_
342         Ir         2         1         L1'         P         -         H         OCH3         H         H         H         -	240			_									Н	Н	-	-
343	342	lr	2	1											_	
343         Ir         2         1         L1'         Q         H         -         H <td>240</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>LI</td> <td>В</td> <td>Н</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Н</td> <td>Н</td> <td>-</td> <td>_</td>	240				LI	В	Н						Н	Н	-	_
344	343	ır	4	'	L1'	Q		_						_	-	_
344         Ir         2         1         L1'         R         H         -         H         CI         H         H         - </td <td>244</td> <td>1</td> <td>^</td> <td>4</td> <td>L1</td> <td>В</td> <td></td> <td>Н</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Н</td> <td>H</td> <td>-</td> <td></td>	244	1	^	4	L1	В		Н					Н	H	-	
345     Ir     2     1     L1     B     H     H     Tn6     H     H     H     H     H     H     - <t< td=""><td>344</td><td>ır</td><td>  2  </td><td>  '</td><td>L1º</td><td>R</td><td></td><td>_</td><td>Н</td><td></td><td>Н</td><td></td><td>_</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></t<>	344	ır	2	'	L1º	R		_	Н		Н		_	-	-	-
345       Ir       2       1       L1'       S       ·H       -       H       OC4H9       H       H       - <td< td=""><td>245</td><td>,</td><td>L.</td><td>,</td><td>L1</td><td>В</td><td></td><td>Н</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Н</td><td>Н</td><td>-</td><td>-</td></td<>	245	,	L.	,	L1	В		Н					Н	Н	-	-
346   Ir   2   1   L1   B   CH3   H   F   H   H   H   H   -   -   -   -   -   -	345	ır	2										_		-	
340     Ir     2     1     L1'     V     H     -     Ph2     H     H     H     H     F     H     H       347     Ir     2     1     L1     B     CH3     H     H     CF3     H     H     H     -     -     -     -       348     Ir     2     1     L1     B     H     CH3     CF3     F     H     H     -     -     -     -       349     Ir     2     1     L1     B     H     CH3     OC4H9     H     H     H     -     -     -     -       350     Ir     2     1     L1     B     H     CH3     Ph2     H     H     H     H     F     H     H	040	,	_	<b>,</b>										-	-	
347   Ir   2   1   L1   B   CH3   H   H   CF3   H   H   -   -   -   -   -   348   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   CF3   F   H   H   H   -   -   -   -   349   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   OC4H9   H   H   H   -   -   -   -   350   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   OC4H9   H   H   H   -   -   -   -   350   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   OC4H9   H   H   H   H   F   H   H	346	ir	2	1		_							Н	F	Н	н
348   Ir   2   1   L1   Y   H   -   Pe2   H   H   H   H   -   -   -   -     348   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   CF3   F   H   H   H   -   -   -   -     349   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   OC4H9   H   H   H   -   -   -   -     350   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   Ph2   H   H   H   H   F   H   H	247		_	7				H								
348   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   CF3   F   H   H   -   -   -   -   -   -     349   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   OC4H9   H   H   H   -   -   -   -   -     350   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   Ph2   H   H   H   H   F   H   H   H     350   Ir   2   1   L1   B   H   CH3   Ph2   H   H   H   H   F   H   H   H   H   H	34/	ır	2	1									H	-	l –	
349 Ir 2 1 L1 B H CH3 OC4H9 H H H	240		_	7	_	_		СНЗ					_	-	_	<b>-</b>
349 Ir 2 1 L1 B H CH3 OC4H9 H H H	348	ır	2	'									<del>-</del>	-	-	
349 IF 2   L1' C' H H CI CF3 H H	240		_	7		_		СНЗ					_	_	-	_
350 lr 2 1 L1 B H CH3 Ph2 H H H H F H H	349	ır	2			_							_	-	-	
	050		<u> </u>	7		_							Н	F	Н	H
	350	ır	2		L1'	D'	СНЗ		Np3	Н	Н	H	Н	Н		_

表1-9

1 1		9													
No	м	m	n	L	Х	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
				L'	X,	R1	R2	X1'	X2'	Х3,	X4'	R7	R8	R9	R10
351	Rh	2	1	L1	В	H	Н	<u>H</u>	Н	Н	<u> H</u>	_	_		
331	rui		•	L1'	В	Н	Н	F	Н	Н	Н	_		-	-
250	7	٥		LI	В	Н	Н	H	Н	Н	. н	1	-	_	
352	Rh	2	1	L1'	В	Н	Н	Н	F	Н	Н	ı	1	-	-
250	-	_	•	LI	В	Н	Н	Н	Н	Н	н	_	-	_	-
353	Rh	2	1	L1'	В	н	Н	F	F	н	Н	-	1	-	_
25.	-	_		LI	В	н	H	Н	н	Н	Н	-	-	-	-
354	Rh	2	1	L1'	В	Н	Н	CF3	Н	Н	Н	-	-	<u>-</u>	_
			Ι.		В	Н	Н	Н	н	H	Н		_		_
355	Rh	2	1	L1'	В	H	Н	Н	CF3	Н	Н				_
	$\neg$			Li	В	H	H	Н	Н	Н	Н		_		_
356	Rh	2	1	급	В	H	H	F	CF3	H	Н	_			
$\vdash$	_				ᡖ	Н	H	Н	H	H	Н			_	
357	Rh	2	1	빞		$\overline{}$									-
$\vdash$				LI'	В	<u> </u>	<u>H</u>	Cl	CF3	H	<u>H</u>				<b>├</b> ──
358	Rh	2	1	<u>L1</u>	В	Н	Н.	H	H	H	H				
		Ĺ	Ľ.	L1'	В	H	Н	CH3	H	Н	<u>H</u>				
359	Rh	2	1	LI	В	Н	H	<u>H</u>	H	Н	Н				_
		_	Ŀ	L1'	В	Н	Н	OCF3	Н	Н	Н		_		
360	Rh	2	1	<u>L1</u>	В	Н	<u>H</u>	<u>H</u>	Н	Н	Н				
300	tui		Ŀ	L1'	В	Н	<u>H</u>	H	OC4H9_	Н	Н			_	
361	ŗ	1	1	L1	В	Н	Н	OC4H9	Н	Ĥ	Н			-	_
301	Pt	l '	l '	L1'	В	H	Н	H	OCH(CH3)2	H	H	-	_	-	<u> </u>
200	ć		7	LI	В	Н	Н	Br	Н	H	Н	_	-	-	-
362	Pt	1	1	L1'	В	Н	Н	Н	Н	CI	Н	-	_	_	
				LI	В	Н	Н	Н	Н	Н	CI	-	-	-	-
363	Pt	1	1	LI	В	Н	Н	Н	Н	CF3	Н	-			<u> </u>
			-	Li	В	Н	H	Н	Н	Н	CF3		-	-	_
364	Pt	1	1	li.	В	H	Н	Ph3	Н	Н	Н	-	<del>  -</del>		_
<del>                                     </del>	-			Li	В	н	Н	Ph3	Н	Н	CF3		-	<del></del>	_
365	Pt	1	1	냚	В	H	H	Ph2	Н	Н	Н	H	F	H	Н
$\vdash$		├					_	Ph2		Н	Н	_	H	CF3	H
366	Pd	1	1	<u>  L1</u>	B	H	_H_		H	-	_	H			
			$\vdash$	L1"	В	H	Н	Tn5	H	H	H	Н	H	<u> </u>	<u> </u>
367	Pd	1	1	14	B	<u>H</u>	#:	Np3	H	H	H_	Н	H	┝ <u>-</u>	╌
	<u> </u>	Ľ.	_	LI'	В	Н	Н	H	Tn5	H	<u> </u>	H	H	<u> </u>	
368	Pd	1	lı	L1	В	H	Н	Tn7	Н	H	H	<u> </u>	H		
L	<u> </u>	ட்	Ŀ	L1'	В	Н	H	Pe2	Н	H	H	H	<del>  -</del>	_	
369	Pd	1	1	<u>L1</u>	В	Н	Н	Tn8	H	H	Н	H	H		
503	L	Ľ	Ľ	11	В	Н	Н	Np4	Н	H	H	Н			<u> </u>
270	دم ا	1	1	L1	В	Н	Н	Tn6	Н	Н	H	Н	H	<u> </u>	-
370	Pd	1	1	L1	В	СНЗ	Н	Н	Н	Н	H		<u>L-</u>		<u> </u>
22	<u></u>	Ĺ	1	L1	В	H_	Н	Н	'H	H	Н		_	_ =	
371	Rh	2	1	L1	C	Н	_	Cl	CF3	Н	H	_	-	-	-
	<u> </u>	T	Τ.	Lī	В	Н	Н	Ph3	Н	H	CF3	-	T -	-	T -
372	Rh	2	1	LT	N	CH3	H	H	CF3	H	H	_	T -	-	<u> </u>
-	$\vdash$	<del>                                     </del>	†	Li	B	H	H	Tn6	H	H	Н	Н	Н		<del>  -</del>
373	Pt	1	1	냚	S	Н	<del>-</del> -	H	OC4H9	H	H	-	<del>                                     </del>	-	<del>  -</del> -
$\vdash$	-	+-	+-		_	<del></del>		OC4H9	H	H	H	<del>-</del>	<del> </del>	<del>   </del>	┼ <u>-</u>
374	Pt	1	1	11	B	H	CH3		<del> </del>			<del>                                     </del>	+-	<del>-</del>	╁
<u> </u>	<u> </u>	1-	<del> </del>	LI.	<u>C,</u>	H	H	CI	CF3	H	H	<del> </del>		<del>  -</del>	<del>                                     </del>
375	Pd	1	l 1	111	B	H	CH3	Ph2	H	H	H	<u> </u>	F	H	H
تنا	سَـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	Ŀ	نــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	L1	D,	CH3		Np3	<u> </u>	H	H	<u> </u>	<u>} H</u>	<u>L-</u>	

表1-10

双1	-	. U									_			
				L X	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
												Α		
No	М	m	n	Ľ	Α"	В"	R3	R4	R5	R6	Ŕ7 .	R8	R9	R10
					^		1.0					B	)"	
											R7	R8	R9	R10
l l				L1 B	Н	Н	Н	н.	н	Н	-	_	-	
376	Ir	2	1	_	Ph1	Pi	н	н	н	н	_	-	_	_
H				L1 E	Н	Н	F	CF3	Н	Н		_	_	
377	İr	2	1								-	_	_	
					Ph1	Pi	Н	Н	Н	Н		-	ı	-
			ا ا	L1 E	Н	Н	CI	CF3	Н	Н	-	-	-	
378	Ir	2	1	-	Ph1	Pi	н	н	н	н	_	-		
-	_			L1 E	Н	н	H	OCF3	Н	Н		_	_	_
379	Ir	2	1		Ph1	Pi	Н	н	Н	Н	_	-	-	
							·							
200				L1 E	H	Н	OC4H9	Н	Н	Н	_	-	_	-
380	lr '	2	1	_	Ph1	Pi	Н	н	Н	н	_	-		_
				L1 E	Н	Н	Ph2	н	Н	Н	Н	Н	CF3	Н
381	lr	2	1	_	Ph1	Pi	Ph2	Н	H	Н	Н	F	Н	Н
			<u> </u>	1115		Н		Н	Н	Н	-	-	-	
382	lr	2	1	L1 E	<del></del>		Tn7				<u>H</u>	H -	_	<del>-</del>
"	-	-	•	-	Phi	Pi	Н	н	H	Н	_	=	-	-
				L1 E	Н	СНЗ	Ph2	Н	Н	Н	Н	F	Н	Н
383	<u>I</u> r	2	1	_	Tn2	Pi	н	СНЗ	н	н		<u> </u>		
-	-	┝	├	L1 E	Н	CH3	Np3	Н	Н	Н	-	<u>-</u> Н	<u> </u>	-
384	Îr	2	1									<del>-</del>	_	-
					Tn3	Pi	Н	H	Н	Н	_	-	-	_
				L1 C	; Н		Н	Н	Ŧ	Н	_	_		_
385	Ir	2	1	-	Tn4	Pi	Н	н	H.	н		<del>  -</del>	_	_
	-	-		L1 C	) н	Н	CF3	Н	Н	н	<del>-</del>	-	-	-
386	Ir	2	1		Np2	Pi	Н	Н	Н	CF3	Ξ	_	-	-
						Ь	ļ					-	-	
007			١.	L1 E	<u> </u>	<del>  -</del> -	Н	Cl	Н	Н		<u> </u>	-	-
387	lr	2	1	-	Pe1	Py1	н	-	н	н	<del>-</del> -	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>
	$\vdash$		1	LI I	Н	-	Н	OCH(CH3)2	Н	Н	-		-	-
388	lr	2	1		Tn1	Pr	Н	Н	Ph3	Н		-	-	=
			$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}$				<u> </u>	<u> </u>	['' <sub>112</sub>	L''			_	-

表1-11

<u> </u>															
				L	Х	R1	R2	X1	X2	ХЗ	X4	R7	R8	R9	R10
													A	<u>."</u>	
No	М	m	n	1		Α"	   <sub>B"</sub>	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
								110	'``	110	1.0		В	3"	
	_					L						R7 -	R8	R9	R10
000	١. ا			L1	Н	Н	<u> </u>	Ph2	Н	Н	Н	Н	H	CF3	Н
389	lr	2	1		-	Ph1	Pi	н	н	н	Tn5	-	-		
-				L1	Н	СНЗ	_	Н	Tn5	Н	Н	H	H		
390	Ir	2	1									-	-	_	
L					-	Ph1	Pi	Н	н	Н	Tn8	Н	Н	-	-
	l			L1	1	Н	Н	Tn8	Н	Ξ	H	Н	Н	-	_
391	Rh	2	1		-	Ph1	Pi	н	н	Н	н	-	<u> </u>	_	
	$\vdash$	-		L1	Р	_	Н	ОСН3	Н	11	- 11				
392	Rh	2	1	<u> </u>	<u> </u>					Н	Н	F	F	- F	F
				-	-	Ph1	Pi	Н	Ph2	Н	Н	÷	-	-	
				LI	٧	H	-	Ph2	Н	Н	Н	Н	F	Н	Н
393	Rh	2	1		-	Tn2	Py2	_	Н	н	н	_	~	_	~
ļ												-	-		
394	Rh	2	1	L1	D'	Н		Ph2	Н	Н	Н	H	F	Н	Н
354	rui		'		-	Tn3	Pi	Np3	Н	CF3	н	H -	H -	-	
				L1	F	-	_	F	CF3	Н	Н	_	-	_	_
395	Pt	1	1			Ph1	Pi	Н	н				-	-	_
							F)			H	Н	_	-	-	
	_			L1	J'			Ph3	Н	Н	CF3	1	_		_
396	Pt	1	1	-	-	Tn1	Pi	Н	н	н	н			_	
				L1	С	Н	_	Pe2	Н	Н	Н	 H	_	_	
397	Pt	1	1										_		
					-	Np2	Pi	H	Н	Н	Н	_	-	_	
				L1	В	Н	Н	Ŧ	Н	Н	Н	_	-		
398	Pd	1	1		-	Ph1	Pi	Н	н	Н	Н	_	-	_	
<u> </u>				L1	В								-		
399	Pd	,	1	LI	В	H	Н	Н	OCH(CH3)2	Н	Н	Н	- C3F7	<u>-</u>	<u>-</u> Н
				-	-	Tn3	Pi	Ph2	Ĥ	Н	CH3	-	- -		-
				L1	С	Н	_	Н	Н	Н	Н	_	-	-	-
400	Pd	1	1		_	Np1	Pr	Н	н	An	Н	1	-		-
	100 Pd 1				'''P'	F,	''	''	An	п	Н	-	-	_	

表1-12

				LX	R1	R2	X1	X2	ХЗ	X4	R7	R8	R9	R10
				_								E	:	
No	м	m	n	E							R7	R8	R9	R10
												<u> </u>		
				G							R7	R8	R9	R10
				L1 B	Н	Н	Н	Н	Н	Н	-	_	ı	-
401	Ir	2	1	CH3			<u>-</u>				-	-	-	-
				CH3								-	1	-
				L1 B	Н	Н	F	CF3	Н	Н	_	1	-	-
402	<u>I</u> r	2	1	CH3					,		-	-	-	-
				CH3								_		
				L1 B	H	Н	CI	CF3	н	H	-	_	-	1
403	<u>I</u> r	2	1	CH3								-	-	-
				CH3			·					-	-	-
				L1 B	Н	Н	Н	OCF3	Н	_H_	_			
404	Ir	2	1	CF3										$\Box$
	$\vdash$			CF3			10000				-	-		
405		اما	4	L1 B	Н	Н	OC4H9	Н	Н	Н				
405	Ir	2	1	CF3							_			-
<u> </u>	$\vdash$		-	CF3	•		D. 0	<del></del>			-		-	<del></del>
406	T	2	1	L1 B	Н	Н	Ph2	Н	Н	Н	H 	Н	CF3	H
400	Ir .			Ph3							<u> </u>			
	$\vdash$			L1 B	Н	Н	Tn7	н	Н	Н	- H	Н		_
407	Ir	2	1	Ph2			11117	1 1	11	п	Н	C3H7	Н	Н
10,	*	-	•	Ph2							H	C3H7	H	규
				L1 B	Н	СНЗ	Ph2	Н	Н	Н	Н	F	Н	Н
408	Ir	2	1	Tn5		0110	1 172	<u> </u>			H	H		-
	_	_	•	Tn5							H	H		
			-	L1 B	Н	СНЗ	Np3	Н	Н	Н	Н	H		
409	Īr	2	1	СНЗ			1	11				-:-	_	_
				Ph3							_	_	_	-
				L1 C	Н	<b>–</b>	Н	Н	Н	Н	-		-	-
410	Ir	2	1	Tn6							Н	Н	-	_
1				Tn6							Н	Н	-	_
				L1 D	Н	Н	CF3	Н	Н	Н	-	-	-	-
411	Ir	2	1	Np3				-			<b>CH30</b>	H	-	_
				Np3							CH30	Н	-	į
				L1 E	-	-	Н	CI	Н	Н	=	_	-	-
412	Ir	2	1	Np4							F	1	1	1
		L.,		Np4			γ				F			-
				L1 F	Н	<u> </u>	Н	OCH(CH3)2	Н	Н		1	-	1
413	<u>I</u> r	2	1	Tn7							CH3	Н		_
L				Tn7							CH3	H		

表1-13

	М	m		LX	R1	R2	X1	X2	Х3	X4	R7	R8	R9	R10
No				E								E		
			n	_							R7	R8	R9	R10
				-							G			
				G							R7	R8	R9	R10
414	Îr	2	1	L1 H	Н	_	Ph2	Н	Н	Н	Н	Н	CF3	Н
				Tn8				-			Н	Н	ı	-
				Tn8							Н	H	-	-
415	İr	2	1	L1 H	CH3	-	Н	Tn5	H	Н	Н	H	-	
				Pe2					_		Н	1	ı	-
				Pe2		_					Н	1	1	-
416	Rh	2	1	L1 I	Н	Н	Tn8	Н	Н	Н	Н	Н	-	-
				CH3							-		-	-
				CH3							-	•	-	_
417	Rh	2	1	L1 P	1	H	OCH3	Н	Н	Н	-	_	-	-
				CH3							_	-	1	-
				CH3							-	1	-	-
418	Rh	2	1	L1 V	Н	-	Ph2	н	Н	Н	Н	F	Н	Н
				CH3							-	-	ı	-
				CH3							-	-	-	
	Rh	2	1	L1 D'	Н	-	Ph2	Н	Н	H	Н	F	Н	Н
419				Ph3				-			-	-	1	-
				Ph3							-	-	-	-
	Pt	1	1	L1 F	1	1	F	CF3	Ξ	Н	-	-	ı	-
420				CH3			•				-	•	1	-
				CH3							_	1	1	-
	Pt	1	1	ر ت	1	1	Ph3	H	H	CF3	_	-	-	-
421				CF3							_	-	-	-
				CF3							-	-	-	-
422	Pt	1	1	L1 C	Н		Pe2	Н	Η	Н	Н	1	1	
				Pi2							Н	Н	_	_
				Pi2							Н	Н		-
423	Pd			L1 B	Н	Η	Н	Н	H	H	1	-	_	-
		1	1	CH3				_			_	-	-	
				CH3							_	-	-	-
424	Pd	1	1	L1 B	Н	Н	Н	OCH(CH3)2	Н	Н	ı	=	_	
				CF3							-	_		_
				CF3	<u> </u>						-	_		
425	Рd	1	1	L1 C	Н	-	Н	Н	Н	Н	-	_	-	
				Qn2							Н	Н	-	-
				Qn2							Н	Н	_	

表1-14

No	М	m	n	L	Х	R1	R2	R3	R4	X1	X2	ХЗ	X4
426	lr	3	0	L2	В	Н	Н	-	-	Н	Н	_	Н
427	lr	3	0	L3	В	H	Н	_		F	Н	Н	-
428	İr	3	0	L4	В	Н	Н	-	-	Н	F	Н	Н
429	İr	3	0	L5	В	Η	Н	ļ	_	-	F	Н	Н
430	Ir	3	0	L6	В	H	Н	1	-	CF3	_	-	Н
431	İr	3	0	L.7	В	H	Н	1	-	Н	Н	Н	Н
432	Ir	3	0	L8	В	Ŧ	H	1	-	F	CF3	Н	Н
433	Ir	3	0	L9	В	H	Н	1		Н	Н	CF3	F
434	İr	3	0	L10	В	H	H		_	Н	Н	Н	Н
435	Ir	3	0	L11	В	Н	H	1	_	Н	Н	Н	Н
436	Ir	3	0	L2'	В	Η	H	1	-	Н	CH3	-	Н
437	Ir	3	0	L3'	В	Н	H	1	1	OCH3	Н	Н	-
438	lr	3	0	L4'	В	Н	Н	1	-	Н	Н	Н	Н
439	lr	3	0	L5'	В	Н	Н	-	_		Н	Н	Н
440	lr	3	0	L6'	В	Н	Н	. 1	1	Ή	ı	1	Н
441	lr	3	0	L7'	В	Н	Н	1	1	Н	Н	Н	H
442	Īr	3	0	L8'	В	Н	Н	1	_	Н	H	Н	H
443	Ir	3	0	L9'	В	Н	Н	_	_	Н	Н	Н	Н
444	Ir	3	0	L10'	В	Н	Н	_	-	Н	Н	Н	Н
445	lr	3	0	L11'	В	Н	Н	-	1	Н	Н	Н	H
446	lr	3	0	L1	M'	CH3	CH3	CH3	СНЗ	Н	Н	Н	Н
447	Ir	3	0	L1	M'	C2H5	C2H5	C2H5	C2H5	Н	Н	Н	Н
448	lr	3	0	L1	M'	СНЗ	CH3	CH3	СНЗ	F	Н	Н	Н
449	lr	3	0	L1	M'	CH3	CH3	CH3	CH3	Н	F	Н	Н
450	Ir	3	0	L1	M,	CH3	CH3	CH3	CH3	F	СНЗ	Н	Н

以下に実施例を挙げて本発明を具体的に説明する。

<実施例1> (例示化合物No. 1の合成)

2 L の 3 つ ロ フ ラスコ に α ー テ ト ラ ロ ン 6 9. 0 g (4 7 2 m m o 1 e)、 ヒ ド ロ キ シ ル ア ミン 塩酸塩 5 0. 0 g (7 2 0 m m o 1 e)、 エ タ ノ ー ル 5 0 0 m 1 お よ び 2 N ー 水 酸 化 ナ ト リ ウ ム 水 溶 液 3 6 0 m 1 を 入 れ、 1 時間 室温 で 攪拌 し た。 溶媒 を 減圧 乾固 し、 残 渣 に 水 5 0 0 m 1 を 加 え、 酢酸 エ チ ル 1 5 0 m 1 で 3 回 抽 出 し た。 有機 層 を 無 水 硫 酸 マ グ ネ シ ウ ム で 乾燥 後 減圧 乾固 し、 α ー テ ト ラ ロ ン = オ キ シ ム の 淡 黄 色 結 晶 7 4 g (収率 9 7. 2%) を 得 た。

10

15

20

5

1Lの3つロフラスコにテトラヒドロフラン80m1,60%油性水素化ナトリウム23.8g(595mmole)を入れて5分間室温で攪拌し、αーテトラロン=オキシム74.0g(459mmole)を無水DMF(ジメチルホルムアミド)500mlに溶かしてこの溶液に15分間かけて滴下した。その後1時間室温で攪拌し、さらに臭化アリル113.5g(939mmole)を加え、室温で12時間攪拌した。反応終了後、反応物を減圧乾固し、残渣に水500mlを加え、酢酸エチル200mlで3回抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後減圧乾固し、茶色の液体を得た。この液体を減圧蒸留し、沸点75-80℃(6.7Pa)のαーテトラロン=オキシム=Oーアリル=エーテル79.5g(収率86.0%)を得た。

10

15

1 Lのオートクレープにαーテトラロン=オキシム=Oーアリル=エーテル58.0g(288mmole)を入れ、酸素ガスで内部置換した後に密栓し、190℃で5日間激しく攪拌した。室温まで冷却し、生成した粘性の高い褐色の液体をクロロホルムに溶かし、5%塩酸300mlで3回抽出した。水層を48%水酸化ナトリウムでアルカリ性にしてクロロホルム350mlで3回抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後減圧濃縮し、クロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、さらにヘキサン/酢酸エチル=5/1の混合溶媒を溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、さらにヘキサン/酢酸エチル=5/1の混合溶媒を溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、薄茶色の液体7.7gを得た。この液体をクーゲルロー蒸留器で精製し、無色のベンゾ[h]-5,6-ジヒドロキノリン6.6g(収率12.6%)を得た。

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バブリングしながら130~140 $^{\circ}$ で2時間加熱攪拌した。グリセロールを100 $^{\circ}$ まで放冷し、ベンゾ $\begin{bmatrix} h \end{bmatrix}$  -5、6-ジヒドロキノリン0.

10

15

20

91g(5.02mmole)、イリジウム(III)アセチルアセトネート0.50g(1.02mmole)を入れ、窒素気流下190~215℃で5時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して1N-塩酸300mlに注入し、沈殿物を濾取・水洗し、アセトンに溶かして不溶物を濾去した。アセトンを減圧乾固し、残渣をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、イリジウム(III)トリス{ベンゾ[h]-5,6-ジヒドロキノリン}の黄色粉末0.11g(収率14.7%)を得た。

この化合物の溶液のPL (フォトルミネッセンス) スペクトルの λ m a x (最大発光波長) は511 n m であり、量子収率は 0.51 であった。比較のため、本願の金属配位化合物とは異なりアルキレン基で架橋されていない先に述べた従来の発光材料である I r (ppy) 3 の溶液のPLスペクトルを同様にして測定したところ、 λ m a x (最大発光波長) は510 n m であり、量子収率は 0.40 であった。また、後に示す実施例 3 で得られた有機 E L 素子は電界により高輝度の発光を示した。また、E L スペクトルの λ m a x (最大発光波長) は510 n m であった。

<実施例2> (例示化合物No. 53の合成)

3Lの3つロフラスコに1-ベンゾスベロン166.0g (1036

mmole)、O-アリルヒドロキシルアミン塩酸塩125.0g(1141mmole)、酢酸ナトリウム93.5g(1140mmole)、炭酸カリウム158.0g(1143mmole)およびエタノール1500mlを入れ、80℃で1.5時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して溶媒を減圧乾固し、残渣に水1500mlを加え、酢酸エチル500mlで3回抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後減圧乾固した。得られた薄茶色の液体を減圧蒸留し、沸点75-83℃(4.0Pa)の1-ベンゾスベロン=オキシム=O-アリル=エーテル221.8g(収率99.0%)を得た。

10

15

20

5

5 Lのオートクレーブに1ーベンゾスベロン=オキシム=Oーアリル=エーテル220.0g(1022mmole)を入れ、酸素ガスで内部置換した後に密栓し、190℃で3日間激しく攪拌した。室温まで冷却し、生成した粘性の高い褐色の液体をクロロホルム2 Lに溶かし、5%塩酸500mlで3回抽出した。水層を48%水酸化ナトリウムでアルカリ性にしてクロロホルム500mlで3回抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後減圧乾固し、ヘキサン/酢酸エチル=5/1の混合溶媒を溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、薄茶色の液体19gを得た。この液体をクーゲルロー蒸留器で精製し、薄緑色の3、2′ートリメチレンー2ーフェニルピリジン13.5g(収率

#### 6.8%)を得た。

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バブリングしながら130~140℃で2時間加熱攪拌した。グリセロールを100℃まで放冷し、3,2'ートリメチレンー2ーフェニルピリジン0.98g(5.02mmole)、イリジウム(III)アセチルアセトネート0.50g(1.02mmole)を入れ、窒素気流下10 190~210℃で8時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して1N-塩酸300mlに注入し、沈殿物を濾取・水洗し、アセトンに溶かして不溶物を濾去した。アセトンを減圧乾固し、残渣をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、イリジウム(II)トリス{3,2'ートリメチレンー2ーフェニルピリジン}の黄色物末0.18g(収率22.7%)を得た。

後に示す実施例6で得られた有機EL素子は電界により青緑色の発光を示した。

<実施例3~11、比較例1>

素子構成として、図1 (b) に示す有機層が3層の素子を使用した。 20 ガラス基板 (透明基板15) 上に厚み100nmのITO (透明電極1 4) を成膜後、パターニングした。そのITO電極上に、以下の有機層

15

と電極層を10<sup>4</sup>Paの真空チャンバー内で、抵抗加熱により真空蒸着し、下記膜厚にて連続製膜した。

有機層1 (ホール輸送層13) (40 n m): α-NPD

有機層 2 (発光層 1 2) (30 n m): CBP/発光材料 (= 9 5/5)

ホスト材料としてCBPを用い、発光材料として以下の表2に示す金 属配位化合物を重量比5重量%となるように共蒸着して形成した。

有機層3 (電子輸送層16) (30nm): Alq3

金属電極層 1 (15 nm): AlLi合金 (Li含有量: 1.8重量%)

10 金属電極層 2 (100 nm): A1

電極材料を成膜後、対向する電極面積が3mm²になるようにパターニングした。

ITO側を陽極にAl側を陰極にして電界を印加し、電流値が各素子で一定となるように電圧を印加して、輝度の経時変化を測定した。電流量は $70\,\mathrm{mA/c\,m^2}$ とし、初期の段階で得られたそれぞれの素子の輝度の範囲は $80\sim250\,\mathrm{c\,d/m^2}$ であった。これらの輝度がそれぞれ1/2になるまでの時間を輝度半減時間として評価した。

測定に際しては、酸素や水による劣化の原因を除くため真空チャンパーから取り出した後、乾燥窒素フロー中で行った。

20 比較例1では従来の発光材料として、前述の文献2に記載されている Ir (ppy)<sub>3</sub>を用いた。

> 各化合物を用いた素子の通電耐久テストの結果を表 2 に示す。従来の 発光材料を用いた素子より明らかに輝度半減時間が大きくなり、本発明 の材料の安定性に由来する耐久性の高い素子が得られた。

表 2

	発光材料No.	輝度半減時間 (時間)
実施例3	(1)	950
実施例4	(7)	850
実施例5	(48)	700
実施例6	(53)	900
実施例7	(102)	600
実施例8	(131)	500
実施例9	(302)	800
実施例10	(376)	750
実施例11	(401)	650
比較例1	Ir (ppy) 3	3.50

# <実施例12>

5

10

15

図2を参照して、本発明の電界発光素子を、図3に示すTFT回路を 用いたアクティブマトリクス方式のカラー有機ELディスプレイに応用 した態様について説明する。

図2は、有機EL素子と駆動手段を備えたパネルの構成の一例を模式的に示したものである。本実施例において画素数は、128×128画素とした。尚、一画素は、緑画素、青画素および赤画素の3つの色画素で構成した。

ガラス基板上に周知の方法でポリシリコンを用いた薄膜トランジスタ 回路(TFT回路という)を形成した。

各色画素に対応する領域にハードマスクを用いて、有機層および金属 電極層を下記膜厚にて真空蒸着してパターニングを行った。各色画素に 対応する有機層の構成は以下である。

緑画素: α-NPD (40nm) / CBP: 燐光発光材料 (=93: 7重量比) (30nm) / BCP (20nm) / Alq (40nm) 青画素: α-NPD (50nm) / BCP (20nm) / Alq (5

10

15

25

0 n m

赤画素: α-NPD (40nm) / CBP: PtOEP (=93:7 重量比) (30nm) / BCP (20nm) / Alq (40nm)

緑画素用の発光層にはCBPをホストとして、燐光発光材料の例示化合物No. 1を7%の重量比になるように共蒸着して形成した。

図2に示すパネルには、走査信号ドライバー、情報信号ドライバー、電流供給源が配置され、それぞれゲート選択線、情報信号線、電流供給線に接続される。ゲート選択線と情報信号線の交点には図3に示す画素回路(等価回路)が配置される。走査信号ドライバーは、ゲート選択線G1、G2、G3... Gnを順次選択し、これに同期して情報信号ドライバーから画像信号が印加される。

次に図3に示す等価回路を用いて、画素回路の動作について説明する。 今ゲート選択線に選択信号が印加されると、TFT1がONとなり、情報信号線からコンデンサCadd に表示信号が供給され、TFT2のゲート電位を決定する。各画素に配置された有機発光素子部(ELと略す)には、TFT2のゲート電位に応じて、電流供給線より電流が供給される。TFT2のゲート電位は1フレーム期間中Cadd に保持されるため、EL素子部にはこの期間中電流供給線からの電流が流れ続ける。これにより1フレーム期間中、発光を維持することが可能となる。

20 結果として所望の画像情報が表示可能なことが確認され、良好な画質 が安定して表示されることが分かった。

本実施例においては、ディスプレイへの応用として、アクティブマトリクス方式であるTFT回路を用いて駆動する方式を用いたが、本発明は、スイッチング素子に特に限定はなく、単結晶シリコン基板やMIM(金属ー絶縁体ー金属)素子、a-Si(アモルファスシリコン)型TFT回路等でも容易に応用することができる。

#### [産業上の利用可能性]

以上説明のように、前記一般式 (1)で示される本発明の金属配位化合物を発光材料に用いた発光素子は、高い発光効率を持ち、長い期間高輝度発光を保つことが可能となった。また発光波長の調節、特に短波長化が可能な、優れた材料である。また、本発明の発光素子は表示素子としても優れている。

本発明で示した高効率な発光素子は、省エネルギーや高輝度が必要な 製品に応用が可能である。応用例としては、表示装置・照明装置やプリ ンターの光源、液晶表示装置のバックライトなどが考えられる。表示装 置としては、省エネルギーや高視認性・軽量なフラットパネルディスプ レイが可能となる。また、プリンターの光源としては、現在広く用いら れているレーザビームプリンタのレーザー光源部を、本発明の発光素子 に置き換えることができる。独立にアドレスできる素子をアレイ上に配 置し、感光ドラムに所望の露光を行うことで、画像形成する。本発明の 素子を用いることで、装置体積を大幅に減少することができる。

#### 請求の範囲

下記一般式(1)で示される金属配位化合物。
 ML<sub>m</sub>L'<sub>m</sub>(1)

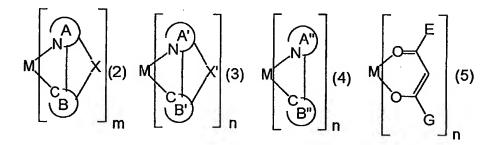
[式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、LおよびL'は互いに異なる二座配位子を示す。mは1、2または3であり、nは0、1または2である。ただし、m+nは2または3である。部分構造MLmは下記一般式(2)で示され、部分構造ML'nは下記一般式(3)、(4)または(5)で示される。

10

15

20

5



WO 03/000661 PCT/JP02/06001

ルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)または置換基を有していてもよい芳香環基(該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基を示す(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-CH-CH-、-C=C-で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)。)を示す。}、

5

10

15

20

25

AとB、A'とB'およびA''とB''はそれぞれ共有結合によって結合しており、さらにAとBおよびA'とB'はそれぞれXおよびX'によって結合している。XおよびX'はそれぞれ炭素原子数2から10の直鎖状または分岐状のアルキレン基(該アルキレン基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、-C0-O-、-O-CO-、-CH=CH-、 $-C\equiv C-$ で置き換えられていてもよく、該アルキレン基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)であり、

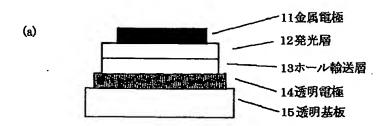
EおよびGはそれぞれ炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)または置換基を有していてもよい芳香環基{該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、トリアルキルシリル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキル基である。)、または炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一〇〇一、一〇〇〇一、一〇一〇〇一、一〇十〇十〇十八年の大手に置換されていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示す。}を示す。]

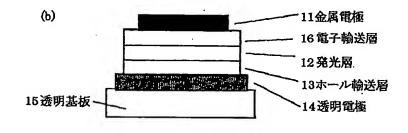
- 2. 前記一般式(1)においてnが0であることを特徴とする請求項 1に記載の金属配位化合物。
- 3. 前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(3)で示されることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
- 5 4. 前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(4)で示されることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
  - 5. 前記一般式(1)において部分構造ML'nが前記一般式(5)で示されることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
- 6. 前記一般式(1)においてXが炭素原子数2から6の直鎖状また
   10 は分岐状のアルキレン基(該アルキレン基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、該アルキレン基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)であることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
- 7. 前記一般式(1)においてMがIrであることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
  - 8. 基板上に設けられた一対の電極間に、請求項1に記載の一般式 (1)で示される金属配位化合物を少なくとも一種含むことを特徴と する電界発光素子。
- 20 9. 前記電極間に電圧を印加することにより燐光を発光することを 特徴とする請求項8に記載の電界発光素子。

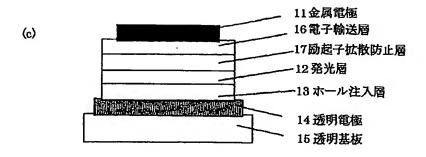
WO 03/000661 PCT/JP02/06001

1/2

第1図



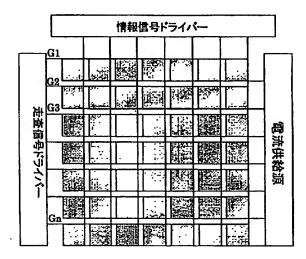




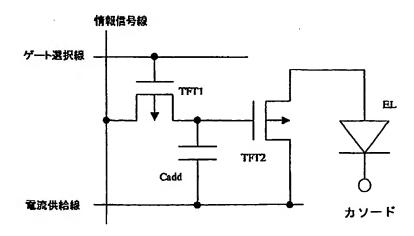
WO 03/000661 PCT/JP02/06001

2/2

第2図



第3図



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP02/06001

	101/0/	02/0001	
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl <sup>7</sup> C07D221/10, C07D221/16, C07F15/00		5B33/12,	
According to International Patent Classification (IPC) or to bo	in national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED			
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)  Int.Cl <sup>7</sup> C07D221/10, C07D221/16, C09F11/06, H05B33/14, H05B33/12,  C07F15/00			
Documentation searched other than minimum documentation t			
Rectronic data base consulted during the international search (CAPLUS (STN), CAOLD (STN), REGISTE		rch terms used)	
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
Category* Citation of document, with indication, when		Relevant to claim No.	
with a Pincers. 2, 6-Dipher Deprotonated (CANAC) Terder trans-, and as Monodeproton Ligand in Chiral C, C-cis-(II), and Palladium(II), He Vol.71, Vol.1, pages 130 to	CORNIOLEY-DEUSCHEL Christine et al., 15. Complexes with a Pincers. 2, 6-Diphenylpyridine as Twofold-Deprotonated (CANAC) Terdentate Ligand in C,C-trans-, and as Monodeprotonated (CAN)Chelate Ligand in Chiral C, C-cis-Complexes of Platinum (II), and Palladium(II), Helv. Chim. Acta, 1988, Vol.71, Vol.1, pages 130 to 133  DEUSCHEL-CORNIOLEY Christine et al., A New Type of 1,2,6		
X DEUSCHEL-CORNIOLEY Christing Y 'Square Planar' Platinum(I Helical Chirality, J. Chem 1990, Vol.2, pages 121 to	I) Complex showing . Soc., Chem. Commun.,	1,2,6 3-5,7-9	
Further documents are listed in the continuation of Box	C. See patent family annex.		
Special categories of cited documents:  "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance earlier document but published on or after the international filing date and not in conflict with the application but cited understand the principle or theory underlying the invention and document of particular relevance; the claimed invention can considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means  "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed  Date of the actual completion of the international search  15 August, 2002 (15.08.02)  "It later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cite understand the principle or theory underlying the invention can considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when the document of particular relevance; the claimed invention can considered to involve an inventive step when th		he application but cited to enlying the invention claimed invention cannot be red to involve an inventive claimed invention cannot be p when the document is a documents, such a skilled in the art family	
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer		
Facsimile No.	Telephone No.		

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP02/06001

Category*	gory* Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages Relevant to claim			
X	MACSTRI Macstri et al., Spectroscopic and electro-	1,2,6		
Ŷ	chemical properties of Pt(II) complex with aromatic terdendate (C^N^C) cyclometallating ligands, J. Photochem. Photobiol. A: Chem., 1992, Vol.67, pages 173 to 179	3-5,7-9		
Y A	WO 01/41512 A1 (THE TRUSTEES OF PRINCETON UNIVERSITY), 07 June, 2001 (07.06.01), Full text & AU 200118072 A	3-5,7-9 1,2,6		
A	LAMANSKY Sergey et al., Synthesis and Characterization of Phosphorescent Cyclometalated Iridium Compleses, Inorg. Chem., 26 March, 2001 (26.03.01), Vol.40, pages 1704 to 1711	1-9		
A	LAMANSKY Sergey et al., Highly Phosphorescent Bis- Cyclometalated Iridium Complexes: Synthesis, Photophysical Characterization, and Use in Organic Light Emitting Diodes, J. Am. Chem. Soc., 09 May, 2001 (09.05.01), Vol.123, pages 4304 to 4312	<b>1-9</b>		
А	WO 00/57676 A1 (THE UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA), 28 September, 2000 (28.09.00), Full text & AU 200039084 A & EP 1181842 A1 & BR 200009215 A & KR 2002004982 A	1-9		
A	JOLLIET Philippe et al., Cyclometalated Complexes of Palladium(II) and Platinum(II): cis-Configured Homoleptic and Heteroleptic Compounds with Aromatic C N Ligands, Inorg. Chem., 1996, Vol.35, pages 4883 to 4888	1-9		
A	OHSAWA Y. et al., Electrochemistry and Spectroscopy of Ortho-Metalated Complexes of Ir(III) and Rh(III), J. Phys. Chem., 1987, Vol.91, pages 1047 to 1054	1-9		
P,A	JP 2001-181617 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 03 July, 2001 (03.07.01), Full text (Family: none)	1-9		
P,A	WO 02/44189 A1 (CANON KABUSHIKI KAISHA), 06 June, 2002 (06.06.02), Full text (Family: none)	1 <b>-</b> 9		

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (July 1998)

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP02/06001

	tion). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P,A	EP 1211257 A2 (CANON KABUSHIKI KAISHA), 05 June, 2002 (05.06.02), Full text (Family: none)	1-9
P,A	<pre>JP 2002-105055 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 10 April, 2002 (10.04.02), Full text (Family: none)</pre>	1-9
P,A	<pre>JP 2001-181616 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 03 July, 2001 (03.07.01), Full text (Family: none)</pre>	1-9
P,A	US 2001/19782 A1 (Tatsuya IGARASHI), 06 September, 2001 (06.09.01), Full text & JP 2001-247859 A Full text & JP 2001-345183 A	. 1-9
P,A'	JP 2002-175884 A (CANON KABUSHIKI KAISHA), 21 June, 2002 (21.06.02), Full text (Family: none)	1-9
	·	
	· .	

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (July 1998)

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl' CO7D221/10, CO7D221/16, CO9F11/06, H05B33/14, H05B33/12, CO7F15/00			
つの野水も分			
B. 調査を行った	JOKATH 最小限資料(国際特許分類(IPC))		
Int. C1' C071	0221/10, C07D221/16, C09F11/06, H05B33/14,	H05B33/12, C07F15/00	
是小阳容约C/A	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの		
取小成员和200	では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに		
Ì			
国際智本では 日	目した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)	
	, CAOLD (STN), REGISTRY (STN)	#47:-004 6 (4)	
		•	
C 5834-3-1	7 1.60 th 2 to 7 with		
C. 関連する   引用文献の	ると認められる文献 「		関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	きは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Х	CORNIOLEY-DEUSCHEL Christine et a		1, 2, 6
Ŷ	Pincers. 2,6-Diphenylpyridine as		3-5, 7-9
1	$(C \land N \land C)$ Terdentate Ligand in C,		3 0, 1 3
	deprotonated (C/N)Chelate Ligand		]
	Complexes of Platinum(II) and Pal		
	Acta, 1988, Vol. 71, Vol. 1, pp.	130–133	
77	PRINCIPLI CODITOLEN CL. 1. 1. 1. 1.	1 A Now Town of Course	1, 2, 6
X	DEUSCHEL-CORNIOLEY Christine et a		
Y	Planar' Platinum(II) Complex show	=	3-5, 7-9
	J. Chem. Soc., Chem. Commun., 199	0, vol. 2, pp. 121-122	
	No. 2 Label Samus V. L. 2 Label Samus V.	□ .0=>.1 == >11	16rt + .55 177
x  C欄の統	きにも文献が列挙されている。 	□ パテントファミリーに関する別	一种全体派。
* 引用文献(	のカテゴリー	の日の後に公表された文献	
「A」特に関	連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「丁」国際出願日又は優先日後に公表	された文献であって
もの		出願と矛盾するものではなく、	発明の原理又は理論
	顔日前の出願または特許であるが、国際出願日	の理解のために引用するもの	V#+#^7 ~50H
	公表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、	自敗又厭のみ C宛明 きられるもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以			
文献(理由を付す)  上の文献との、当業者にとって自明である組合せに			
「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの			
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献			
日本の大力を表現した。 日本の大力とは、1000年の大力というできません。 日本の大力というできません。			
国際調査を完了した日 15.08.02 国際調査報告の発送日 27.08.02			
		***	
国際調査機関の名称及びあて先 特許庁審査官(権限のある職員)で 4 P 2 9 3 9			4P 2939
日本国特計庁 (ISA/JP)			
郵便番号100-8915			<b>士伯</b> 0 4 0 0
東京 東京	都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内部 3490

C(続き).	関連すると認められる文献	
引用文献の	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
<u>カテゴリー*</u> X · Y	MACSTRI Macstri et al., Spectroscopic and electrochemical properties of Pt(II) complexes with aromatic terdendate (C^N^C) cyclometallating ligands, J. Photochem. Photobiol. A: Chem, 1992, Vol. 67, pp. 173-179	1, 2, 6 3-5, 7-9
Y A	WO 01/41512 A1 (THE TRUSTEES OF PRINCETON UNIVERSITY) 2001. 06. 07, 全文 & AU 200118072 A	3-5, 7-9 1, 2, 6
A	LAMANSKY Sergey et al., Synthesis and Characterization of Phosphorescent Cyclometalated Iridium Compleses, Inorg. Chem., 2001. 03. 26, Vol. 40, pp. 1704-1711	1-9
A	LAMANSKY Sergey et al., Highly Phosphorescent Bis- Cyclometalated Iridium Complexes: Synthesis, Photophysical Characterization, and Use in Organic Light Emitting Diodes, J. Am. Chem. Soc., 2001. 05. 09, Vol. 123, pp. 4304-4312	1-9
A	WO 00/57676 A1 (THE UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA) 2000. 09. 28, 全文 & AU 200039084 A & EP 1181842 A1 & BR 200009215 A & KR 2002004982 A	1-9
<b>A</b>	JOLLIET Philippe et al., Cyclometalated Complexes of Palladium(II) and Platinum(II): cis—Configured Homoleptic and Heteroleptic Compounds with Aromatic C N Ligands, Inorg. Chem., 1996, Vol. 35, pp. 4883-4888	1-9
A	OHSAWA Y. et al., Electrochemistry and Spectroscopy of Ortho-Metalated Complexes of Ir(III) and Rh(III), J. Phys. Chem., 1987, Vol. 91, pp. 1047-1054	1-9
PA	JP 2001-181617 A (富士写真フイルム株式会社) 2001. 07. 03, 全文 (ファミリーなし)	1-9
PA	WO 02/44189 A1 (キャノン株式会社) 2002. 06. 06, 全文 (ファミリーなし)	1-9
PA	EP 1211257 A2 (CANON KABUSHIKI KAISHA) 2002. 06. 05, 全文 (ファミリーなし)	1-9
PA	JP 2002-105055 A (富士写真フイルム株式会社) 2002. 04. 10, 全文 (ファミリーなし)	1-9
<b>PA</b>	JP 2001-181616 A (富士写真フイルム株式会社) 2001. 07. 03, 全文 (ファミリーなし)	1-9
·		

C (続き).	関連すると認められる文献	BR-11-1-
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
PA	US 2001/19782 A1 (Tatsuya IGARASHI) 2001. 09. 06, 全文 & JP 2001-247859 A, 全文 & JP 2001-345183 A	1-9
PA	JP 2002-175884 A(キャノン株式会社)2002. 06. 21, 全文 (ファミリーなし)	1-9
	. ·	
		•
		·
	•	